

お客様向け

令和5年度

国土交通省

住宅エコリフォーム推進事業

経済産業省

次世代省エネ建材の実証支援事業

事業概要セミナー

2023年5月26日(金)

YKK
AP®

本日のランナツプ（90分）

はじめに

1. 住宅エコリフォーム推進事業 概要解説

- ✓ 概要説明 … (30)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

2. 次世代省エネ建材の実証支援事業

- ✓ 概要説明 … (25)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

3つの事業 有効活用できるケースの想定

	先進的 窓リノベ	住宅エコリフォーム推進事業	次世代省エネ建材の実証支援事業
物件	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全物件 ✓ 水まわり工事を検討している 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 玄関ドア工事を検討している ✓ 窓リノベで窓工事実施済み ✓ マンション 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外壁工事を行う ✓ 開口部を全て工事する ✓ 性能向上リノベ物件 ※特に防火仕様
主な商品	<p>マドリモ断熱窓 樹脂窓 APW330</p> 	<p>ドアリモ玄関ドアD30 マドリモ断熱窓 マンション用</p> 	<p>APW330防火窓 シャッター付</p> 
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 窓リフォームはまずコレ ✓ 外窓交換・カバー工法の補助単価が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 玄関ドアリフォームはコレ ✓ 窓数の少ないマンション 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外断の補助額上限が高い 300～400万円<small>(地域区分による)</small> ✓ 窓・ドアは限定

本日のランナツプ（90分）

はじめに

1. 住宅エコリフォーム推進事業 概要解説

- ✓ 概要説明 … (30)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

2. 次世代省エネ建材の実証支援事業

- ✓ 概要説明 … (25)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

〈住宅エコリフォーム推進事業〉 2023年度（令和5年度）

〈第1版〉
2023.5.10

※本資料は2023.5.2時点の情報です
後変更になる可能性があります。

令和5年度 住宅エコリフォーム推進事業 ポイント

- ・ 国交省によるリフォームに絞った補助事業
- ・ 昨年度新設、今年度も一部改訂して継続
- ・ 申請期間：5/26～1/19
- ・ 予算：279億円の内数 ※注1
- ・ 対象：現行の耐震基準(新耐震)に適合することが条件
- ・ 補助額：上限35万円、補助率は40% →非常に大きい！

※注1
予算規模が小さい為、
早期終了の可能性も高い

※注2
① モデル工事費×40%
② 実際の工事費×40%
①②の低い方が補助額

特にドア交換は目玉！ 大サイズ14.4万円 の補助金 ※注2

- ・ 箇所数が少ない部分改修に優位 →3省連携よりおトク!

玄関(大)×1/勝手口(小)×1/腰窓(中)×1=34.8万円
はき出し窓(大)×2/腰窓(中)×2=35.2万円⇒35万円

ドアリモに最適な補助金！

特に重要な点

- ・申請は施工業者・買取再販業者様等が行う
- ・本事業利用には、事業主向け共通認証システムgBiz I D (GビズID) の **アカウント登録が必要**
- ・上記アカウント取得後、j Grants (Jグランツ デジタル庁運営) で **事業者登録を行うことが条件**

補助金取得の要件

分類	主な内容・条件等		補助率	補助額上限
全体改修	省エネ診断	性能の証明書取得費用など	1/3	—
	省エネ設計等	設計費用など	40%	35万円/戸
建替え	省エネ改修工事 (建替え含む)	断熱等性能等級5かつ一次エネルギー消費量等級6かつBELS等の第三者評価の認証を取得するもの	40%	
部分改修	省エネ診断	性能の証明書取得費用など	1/3	—
	省エネ設計等	設計費用など	40%	35万円/戸
	開口部・躯体等の断熱化工事 設備の効率化に係る工事	<p><必須工事></p> <p>① 複数(2ヶ所以上)の窓・ドアの断熱改修 <small><上記と併せることで対象となる工事></small></p> <p>② 躯体の断熱改修</p> <p>③ 下記設備の高効率化工事</p> <p>1) 太陽熱利用システム 2) ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機 (ハイブリッド給湯機) 3) 電気ヒートポンプ給湯機 (エコキュート) 4) 潜熱回収型石油給湯機 (エコフィール) 5) 潜熱回収型ガス給湯機 (エコジョーズ) 6) 燃料電池システム (エネファーム) 7) 高断熱浴槽 8) 浴室シャワーの節湯水栓 9) 蓄電池 10) LED照明</p>	40%	

期間(予定)

- ・事業者登録 : 2023年4月28日から2023年12月15日 ※事業者登録公開は随時
- ・交付申請受付 : 2023年5月26日から2024年1月19日
- ・完了報告申請期間 : 2023年6月23日から2024年2月29日

概要②：先進的窓リノベ・こどもエコとの主な比較

住宅エコリフォーム推進事業

	先進的窓リノベ	こどもエコすまい	住宅エコリフォーム
予算	1,000 億円	1,500 億円	住宅・建築物カーボンニュートラル総合推進事業 (279億円の内数)
事業者登録	必要 (事務局 HPにて登録)		必要 (デジタル庁運営 j Grants 登録)
申請者	事業者 ※補助金は住宅所有者へ還元が必要		事業者 ※補助金は住宅所有者へ還元が必要
対象工事	・リフォーム	・注文住宅の新築 ・新築分譲住宅の購入 ・リフォーム	・建替えによる新築に限り対象 ・リフォーム (全体改修) ・リフォーム (部分改修)
部分改修対象工事	・窓の断熱改修	・窓、ドアの断熱改修 ・外壁、屋根・天井または床の断熱改修 ・エコ住宅設備の設置 ・子育て対応改修 ・防災性向上のための開口部改修 ・バリアフリー改修 ・空気清浄等機能付きエアコンの設置 ・リフォーム瑕疵保険への加入	・窓、ドアの断熱改修 ・外壁、屋根・天井または床の断熱改修 ・設備の高効率化 工事 ・省エネ診断 ・省エネ設計 等
新築補助額	—	100 万円/戸	最大 35万円/戸 (建替えによる新築)
窓改修必要性能	Z E Hレベル以上	省エネ基準レベル・Z E Hレベル	Z E Hレベル
リフォーム補助率	1 / 2 想定	—	40%
リフォーム補助額算出方法	製品 (サイズ・性能) により定額	製品 (サイズ・性能) 地域により定額	実際の工事費用により変動 (Eメール工事費×補助率 又は実工事費×補助率の低い方)
リフォーム補助額	最大200万円	最大30万円 (条件と満たすと60万円)	最大 35万円/戸
リフォームの申請可能補助額	1 申請あたり5万円以上		1 申請あたり5万円以上 (診断のみの場合は1万円以上)

概要③: 先進的窓リノベ・こどもエコとの補助額比較

(万円/箇所)	面積	先進的窓リノベ事業 (戸建て)			こどもエコすまい [ZEHLレベル]	住宅エコリフォーム※	(窓リノベS・こどもエコ) と住宅エコ比較
		SS (Uw1.1以下)	S (Uw1.5以下)	A (Uw1.9以下)			
内窓設置	大	12.4	8.4	6.9	3.1	9.9	+1.5
	中	8.4	5.7	4.7	2.4	7.6	+1.9
	小	5.3	3.6	3.0	2.0	6.4	+2.8
外窓交換 (カバー) (はつり)	大	18.3	12.4	10.2	3.1	9.9	▲2.5
	中	13.6	9.2	7.6	2.4	7.6	▲1.6
	小	9.1	6.2	5.1	2.0	6.4	+0.2
ドア引戸	大	補助対象外			4.5	14.4	+9.9
	小				4.0	12.8	+8.8

※: 上記はモデル工事費×40%で算出。モデル工事費×40%・実際の工事費×40%のいずれか低い方が補助額となります。

補助対象

全体改修/建替え

部分改修

住宅の「省エネ診断」及び**ZEHレベル**となる「省エネ設計、省エネ改修」が対象

① 省エネ診断

性能の証明書取得費用など

- ・①のみでも申請可
- ・①は事業者登録前の実施でも申請可
- ・①と②は重複して申請可能

② 省エネ設計 省エネ改修 (建替えを含む)

- ・省エネ設計等の費用
- ・**開口部、躯体等の断熱工事費用**
- ・設備の効率化工事費用
- ・省エネ改修と併せ実施する構造補強工事

- ・2023年4月1日以降の契約かつ事業者登録後に着手した工事
- ・ZEHレベルへの建替え、改修
- ・改修後の耐震性確保が必要(計画的な耐震化含む)

対象

断熱レベル

分類

住宅

ZEHレベル

全体改修※1

建替え※1

部分改修※2

※1：全体改修又は建替えによる階数が2階以下かつ床面積が500㎡以下の木造のZEHレベル住宅を整備する場合は、構造安全性・耐震基準などの別途条件あり。

※2：全体改修の要件に適合しないもの

耐震性の確保

全体改修/建替え

部分改修

本事業は「改修後に耐震性が確保されること※」が条件

※計画的な耐震化を行うものを含む

階数が2階以下かつ床面積の合計が300㎡以下の木造住宅をZEHレベルに改修する場合は、以下の①～④のいずれかの基準に適合していることを建築士に証明して頂きます。

- ① **構造計算により構造安全性が確かめられた住宅**
- ② 「木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準（案）の概要」（以下、「壁量等基準（案）」という）
または公布後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられた住宅
(ただし、改修の場合は柱の小径に関する規程への適合は要件としない)
- ③ **現行の住宅性能表示制度における耐震等級3を満たす住宅**
- ④ **現行の住宅性能表示制度における耐震等級2を満たし、かつ、住宅所有者又は買主に対して次のイ及びロの事項の説明を行った上で同意を得た住宅**
(事業者から住宅所有者又は買主に対して同意書の提出を求めること)
 - イ) 国土交通省において壁量等基準（案）を原案として政省令・告示等の検討を進め、パブリックコメント等の手続きを経た上で確定、公布することを予定しており、確定・公布された基準は、令和7年4月以降に建築される木造のZEHが満たすべき基準となること。
 - ロ) 当該住宅が、上記見直しにより、見直し後の壁量等の基準を満たさなくなる可能性があること

全体改修
・
建替え



※省エネ基準適合義務化に向けて、木造建築物の基準の改定が予定されています。今回もそれに準じた内容になっています。

耐震性の確保

全体改修/建替え

部分改修

本事業は「改修後に耐震性が確保されること※」が条件

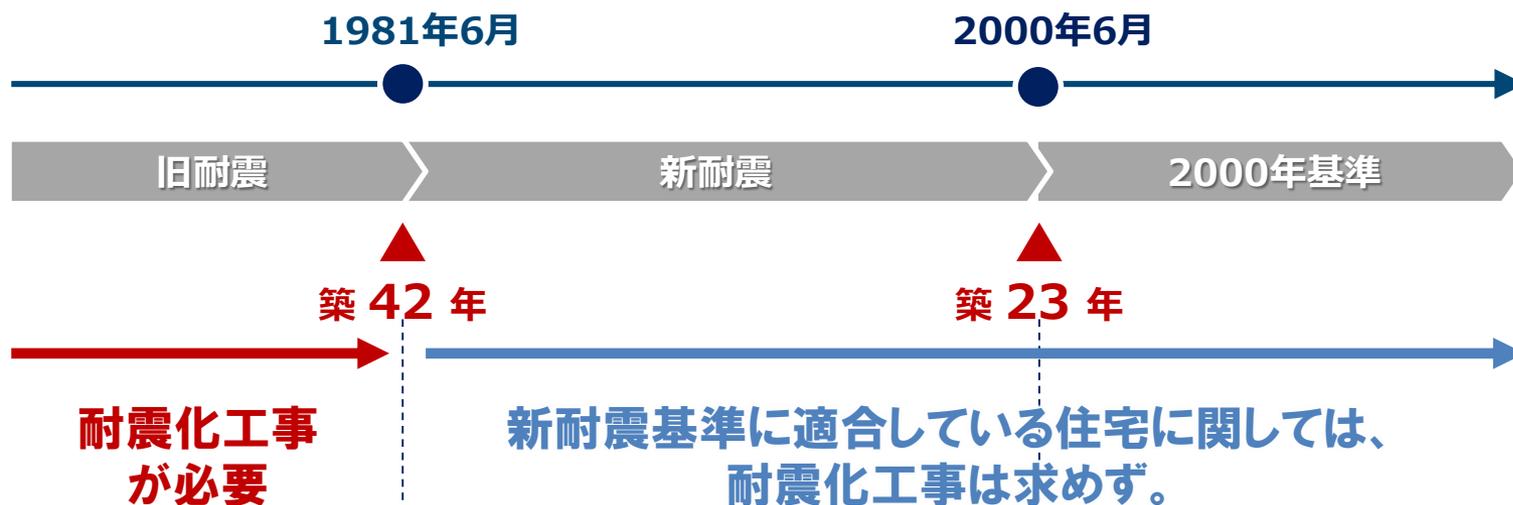
※計画的な耐震化を行うものを含む

改修の対象建物が旧耐震基準により建築された住宅の場合には、**現行の耐震基準に適合させる**ことが必要

旧耐震の建物で耐震工事が実施済の場合は、その適合が確認できる書類として地方公共団体が発行した耐震工事に係る補助事業証明書を提出してください。

例外として、省エネ改修工事の終了までに耐震性が確保できない特段の事情がある場合は、申請時に耐震性向上の工事を予定している旨を証する書類を提出してください

部分改修



全体改修・建替え:対象となる工事・要件等

全体改修/建替え

部分改修

全体改修

要件

- 断熱等性能 等級 5 かつ一次エネルギー消費量 等級 6 となり、BELS等の第三者評価の認証を取得するもの。
※再生可能エネルギーの導入は要件としない。

補助対象工事

- 建物全体を断熱等性能 等級 5 かつ一次エネルギー消費量 等級 6 とする改修工事★
- 型番登録された製品の利用は要件としない。
- 上記★と併せて実施する以下の①②③のいずれかに合致する構造補強工事
 - ①「木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準（案）の概要」へ適合。
 - ②住宅性能表示制度における耐震等級 3 に適合
 - ③構造計算により構造安全性が確認できること

補助額

- (上記の工事費用 + 省エネ設計等費用) × 補助率 40 %**
※設備効率化に係る工事については開口部・躯体等の断熱化工事と同額以下であること。

建替え

要件

- 断熱等性能 等級 5 かつ一次エネルギー消費量 等級 6 となり、BELS等の第三者評価の認証を取得するもの。
※再生可能エネルギーの導入は要件としない。
- 対象が建替えであることを証明する所定の書類を提出できるもの

補助対象工事

- 断熱等性能 等級 5 かつ一次エネルギー消費量 等級 6 とする建替
- 型番登録された製品の利用は要件としない

補助額

- (上記の工事費用 + 省エネ設計等費用) × 補助率 40 %**
※設備効率化に係る工事については開口部・躯体等の断熱化工事と同額以下であること。

グループ提案について

全体改修/建替え

部分改修

地域の関係団体や事業者が連携したグループが、住宅の省エネ改修の普及促進に積極的に取り組んで省エネ改修を実施し、活動計画や交付申請予定等を提出し採択されると、予算の優先配分が行われる。

グループ提案

要件

○以下の要件を全て満たすグループ

- 住宅ストックの省エネ改修（建替えを除く。以下同じ）に関する普及活動に積極的に取り組むこと。
- 2事業者以上で構成**すること。
- 1事業者以上は施工業者又は買取再販業者を含む**こと。
- 申請を予定するものはgBizIDの「gBizID プライム」または「gBizIDメンバー」のアカウント取得をしていること。
- 普及活動計画及び今年度実施を予定する省エネ改修とその補助申請件数の見込みを作成し提出**できること。

評価採択

普及活動計画及び補助申請件数見込み、応募グループの過去の改修実績、応募グループ数等に基づき評価し採否を決定。

部分改修：対象となる工事・要件等

全体改修/建替え

部分改修

下記 ① (必須) および ① と併せて実施する ②・③

① 開口部の断熱改修：複数の開口部でZEH基準を満たす改修工事

〈ガラス交換〉
既存窓を利用して
『ガラスを交換』



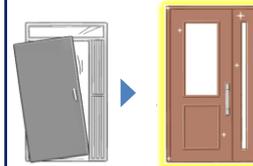
〈内窓設置〉
既存窓の内側に
『新たな窓を新設』



〈外窓交換〉
既存窓を取除き
『新たな窓に交換』

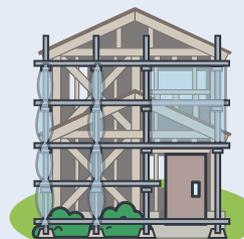


〈ドア交換〉
既存ドアを取除き
『新たなドアに交換』



住宅省エネ2023キャンペーンへ登録された **ZEH仕様基準** を満たす製品

② ZEH基準を満たす躯体の断熱改修工事※

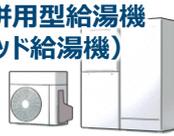


③ 設備の高効率化工事

1) 太陽熱利用システム



2) ヒートポンプ・ガス
瞬間式併用型給湯機
(ハイブリッド給湯機)



3) 電気ヒートポンプ給湯機
(エコキュート)



4) 潜熱回収型石油給湯機
(エコフィール)



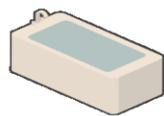
5) 潜熱回収型ガス給湯機
(エコジョーズ)



6) 燃料電池システム
(エネファーム)



7) 高断熱浴槽



8) 浴室シャワーの
節湯水栓



9) 蓄電池



10) LED照明



1) ~ 9) は 住宅省エネ2023キャンペーンへ登録された製品

ZEH仕様基準の概要

全体改修/建替え

部分改修

- 建て方と構造において必要性能が異なります。
- 開口部は熱貫流率（U値）と日射遮蔽対策で評価します。
- 躯体（屋根・壁・床・基礎）については、熱貫流率（U値）または熱抵抗（R値）で評価します。

建て方	構造	開口部の熱貫流率と日射遮蔽対策	外皮の熱貫流率 (U値)※	充填断熱工法の熱抵抗 (R値)※	外・内張断熱工法の熱抵抗 (R値)※
戸建	木造	下表①	0.17～1.01	6.9～0.7	6.3～0.7
	鉄骨造			3.7～0.9	
	鉄筋コンクリート造		0.08～1.26	なし	12.3～0.6
共同	木造	下表②	0.28～2.54	4.4～0.1	3.7～0.1
	鉄骨造			3.1～0.3	
	鉄筋コンクリート造		0.18～2.54	なし	5.3～0.1

※地域・部位によって異なります。

<開口部の熱貫流率と日射遮蔽対策>

- 改修後の開口部の熱貫流率（U値）が、下表の基準値以下となる断熱改修が対象。
- 8地域は日射熱取得率が「窓およびドア0.52以下」または「ガラス0.65以下」の製品が対象とします。

対象	地域区分ごとの熱貫流率の基準値 (単位:W/(m ² ・K))				
	1～2地域	3地域	4地域	5～7地域	8地域
①	1.9	1.9	2.3	2.3	—
②	1.9	2.3	2.9	2.9	—

ZEH仕様基準の概要（戸建て住宅）

全体改修/建替え

部分改修

【窓改修種別ごとの対応表：戸建て住宅（1～7地域）】

※下記は一例となります。窓種・詳細ガラス仕様等により下記と異なる場合があります。

開口部の部分改修		地域区分	1～2地域	3地域	4地域	5～7地域
		U値	1.9	1.9	2.3	2.3
 〈内窓設置〉	プラマードU 単板ガラス		×	×	×	×
	プラマードU 複層ガラス		×	×	○	○
	プラマードU Low-E 複層ガラス		○	○	○	○
 〈外窓交換〉	マドリモ 断熱窓 戸建用 アルミ樹脂複合窓 Low-E 複層ガラス		×	×	×	×
	マドリモ 断熱窓 戸建用 アルミ樹脂複合窓 Low-E 複層ガラス (ガス入・樹脂スペーサー仕様)		×	×	○	○
	マドリモ 断熱窓 戸建用 樹脂窓 Low-E 複層ガラス		×	×	○	○
	マドリモ 断熱窓 戸建用 樹脂窓 Low-E 複層ガラス (ガス入り仕様)		○	○	○	○
 〈ドア交換〉	ドアリモ 玄関ドア D30 D4仕様 (無採光の片開き・親子)		×	×	○	○
	ドアリモ 玄関ドア D30 D4仕様 (採光付きの片開き・親子、ランマ付・袖付)		×	×	×	×
	ドアリモ 玄関ドア D30 D2仕様 (無採光の片開き・親子)		○	○	○	○
	ドアリモ 玄関ドア D30 D2仕様 (採光付きの片開き・親子、ランマ付・袖付)		×	×	○	○
	ドアリモ 玄関引戸		×	×	×	×

ZEH仕様基準の概要（共同住宅）

全体改修/建替え

部分改修

【窓改修種別ごとの対応表：共同住宅（1～7地域）】

※下記は一例となります。窓種・詳細ガラス仕様等により下記と異なる場合があります。

開口部の部分改修		地域区分	1～2地域	3地域	4地域	5～7地域
		U値	1.9	2.3	2.9	2.9
〈内窓設置〉 	プラマードU 単板ガラス		×	×	○	○
	プラマードU 複層ガラス		×	○	○	○
	プラマードU Low-E 複層ガラス		○	○	○	○
〈外窓交換〉 	マドリモ 断熱窓 マンション用 複層ガラス		×	×	×	×
	マドリモ 断熱窓 マンション用 Low-E複層ガラス		×	×	○	○
	マドリモ 断熱窓 マンション用 Low-E複層ガラス（ガス入り・樹脂スペーサー）		×	○	○	○
〈ドア交換〉 	ドアリモ マンションドア ハニカム構造		×	×	×	×
	ドアリモ マンションドア ガラスウール構造		×	×	○	○

部分改修の補助対象となるエコ住宅設備

全体改修/建替え

部分改修

工事種別	要件等
太陽熱利用システム※	強制循環式のもので、JIS A4112:2020に規定する「太陽集熱器」の性能と同等以上の性能を有することが確認できること。（蓄熱槽がある場合は、JIS A4113:2021に規定する太陽蓄熱槽と同等以上の性能を有することが確認できること。）
電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯器（ハイブリッド給湯機）※	熱源設備は電気式ヒートポンプとガス補助熱源機を併用するシステムで貯湯タンクを持ち、年間給湯効率（JGKAS A705）が102%以上であること。
ヒートポンプ給湯機（エコキュート）※	JIS C9220:2018に基づく年間給湯保温効率、又は年間給湯効率が3.0以上（ただし寒冷地仕様は2.7以上）であること。 ただし、浴室シャワー水栓と高断熱浴槽と3つセットの場合に限る。（既設も可）
潜熱回収型石油給湯機（エコフィール）※	油だき温水ボイラーにあつては、連続給湯効率が94%以上であること。石油給湯機の直圧式にあつて、モード熱効率が81.3%以上であること。石油給湯機の貯湯式にあつては、74.6%以上であること。 ただし、浴室シャワー水栓と高断熱浴槽と3つセットの場合に限る。（既設も可）
潜熱回収型ガス給湯器（エコジョーズ）※	給湯暖房器にあつては、給湯部熱効率が94%以上であること。給湯単能器、ふろ給湯器にあつては、モード熱効率が83.7%以上であること。 ただし、浴室シャワー水栓と高断熱浴槽と3つセットの場合に限る。（既設も可）
浴室シャワー水栓※	JIS B2061:2017に規定する「節湯形」の水栓と同等以上の機能を有する節湯水栓を採用すること。 ただし、「ハイブリッド給湯機、エネファーム」のいずれかとセットの場合、又は「エコキュート、エコフィール、エコジョーズ」のいずれかと高断熱浴槽と3つセットの場合に限る。（既設も可）
高断熱浴槽※	JIS A5532:2011に規定する「高断熱浴槽」と同等以上の性能を有すること。 ただし、「ハイブリッド給湯機、エネファーム」のいずれかとセットの場合、又は「エコキュート、エコフィール、エコジョーズ」のいずれかと浴室シャワー水栓と3つセットの場合に限る。（既設も可）
燃料電池システム（エネファーム）※	一般社団法人燃料電池普及促進協会（FCA）が公表する登録機器リストに登録されている製品を対象とする。（燃料電池発電ユニットの後付けも可）
蓄電池※	定置用リチウム蓄電池のうち、一般社団法人環境共創イニシアチブにおいて令和4年度以降登録・公表されている蓄電システム。
LED照明	工事を伴うものであること。

※：住宅省エネ2023キャンペーン型番登録されている設備を対象とします

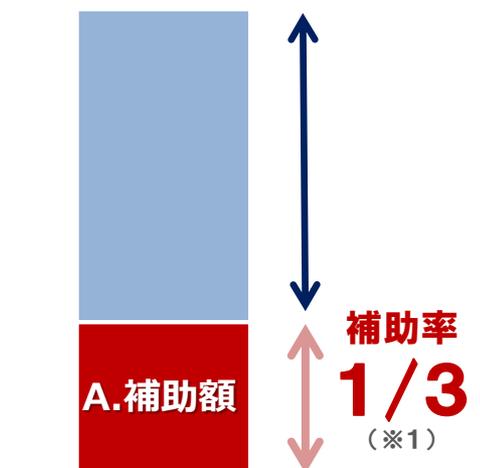
全体改修・建替え：補助額イメージ

全体改修/建替え

部分改修

【省エネ診断】

実際の省エネ診断費
(上限無し)



※1：公共実施の場合 1/2

【省エネ設計・省エネ改修】

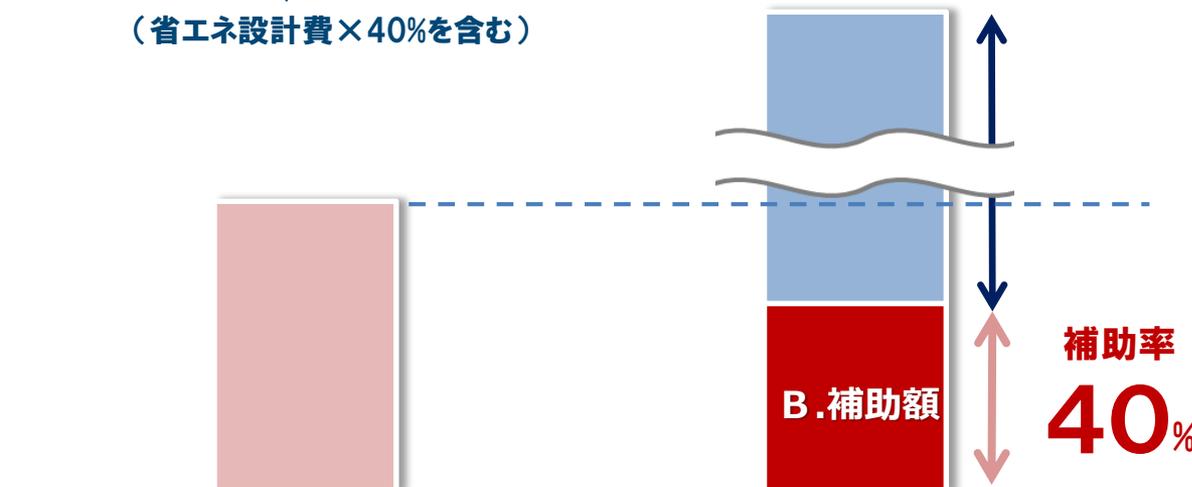
要注意!

補助額 = 下記①～②のうち、低い額

※設備の効率化に係る工事については、開口部・躯体等の断熱化工事と同額以下であること。

①補助上限額
¥350,000 円/戸
(省エネ設計費×40%を含む)

②実際の工事費
(建替えの場合は工事費相当額)



補助額 = 上記A + B (A+Bでの上限は無し)

ただし、最低補助金額は5万円以上が必要(診断のみは1万円以上)

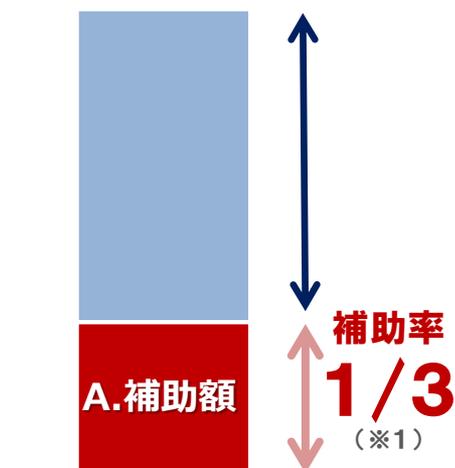
部分改修：補助額イメージ

全体改修/建替え

部分改修

【 省エネ診断 】

実際の省エネ診断費
(上限無し)



※1:公共実施の場合 1/2

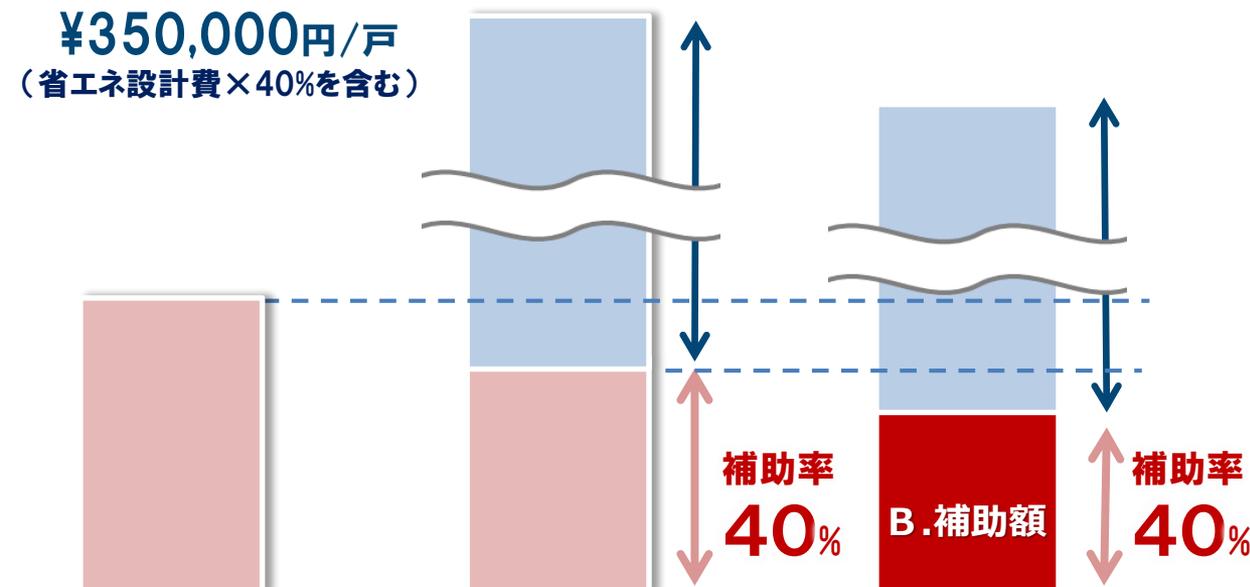
【 省エネ設計・省エネ改修 】

要注意!

補助額 = 下記①~③のうち、**最も低い額**

①補助上限額 ②モデル工事費 ③実際の工事費

①補助上限額
¥350,000円/戸
(省エネ設計費×40%を含む)



補助額 = 上記A + B (A+Bでの上限は無し)

ただし、最低補助金額は5万円以上が必要 (診断のみは1万円以上)

補助額イメージ：開口部の断熱改修（戸建住宅：補助率40%）

全体改修/建替え

部分改修

	面積		1枚あたりの モデル工事費	補助金額（円/枚）		
				住宅エコリフォーム推進事業	【参考】	
				モデル工事費から 試算した金額※	先進的窓リノベ （Sグレード）	こどもエコすまい （ZEHレベル）
ガラス 交換	大	1.4 m ² 以上	96,000円	38,400円	32,000円	12,000円
	中	0.8 m ² 以上 1.4 m ² 未満	72,000円	28,800円	21,000円	9,000円
	小	0.1 m ² 以上 0.8 m ² 未満	24,000円	9,600円	5,000円	3,000円

	面積		1箇所あたり の モデル工事費	補助金額（円/箇所）		
				住宅エコリフォーム推進事業	【参考】	
				モデル工事費から 試算した金額※	先進的窓リノベ （Sグレード）	こどもエコすまい （ZEHレベル）
内窓設置 / 外窓交換	大	2.8 m ² 以上	248,000円	99,200円	84,000円/124,000円	31,000円
	中	1.6 m ² 以上 2.8 m ² 未満	192,000円	76,800円	57,000円/92,000円	24,000円
	小	0.2 m ² 以上 1.6 m ² 未満	160,000円	64,000円	36,000円/62,000円	20,000円

	面積		1箇所あたり の モデル工事費	補助金額（円/箇所）		
				住宅エコリフォーム推進事業	【参考】	
				モデル工事費から 試算した金額※	先進的窓リノベ （Sグレード）	こどもエコすまい （ZEHレベル）
ドア交換	大	開戸：1.8 m ² 以上 引戸：3.0 m ² 以上	360,000円	144,000円	—	45,000円
	中	—	—	—	—	—
	小	開戸：1.0 m ² 以上1.8 m ² 未満 引戸：1.0 m ² 以上 3.0 m ² 未満	320,000円	128,000円	—	40,000円

注意：実際の工事費用がモデル工事費用より安い場合は補助額も低くなります

※：モデル工事費×40%

補助額イメージ：開口部の断熱改修（中高層住宅：補助率40%）

全体改修/建替え

部分改修

	面積		1枚あたりのモデル工事費	補助金額（円/枚）		
				住宅エコリフォーム推進事業	【参考】	
				モデル工事費から試算した金額※	先進的窓リノベ（Sグレード）	こどもエコすまい（ZEHレベル）
ガラス交換	大	1.4㎡以上	96,000円	38,400円	32,000円	12,000円
	中	0.8㎡以上 1.4㎡未満	72,000円	28,800円	21,000円	9,000円
	小	0.1㎡以上 0.8㎡未満	24,000円	9,600円	5,000円	3,000円

	面積		1箇所あたりのモデル工事費	補助金額（円/箇所）		
				住宅エコリフォーム推進事業	【参考】	
				モデル工事費から試算した金額※	先進的窓リノベ（Sグレード）	こどもエコすまい（ZEHレベル）
内窓設置 / 外窓交換	大	2.8㎡以上	248,000円	99,200円	84,000円/150,000円	31,000円
	中	1.6㎡以上 2.8㎡未満	192,000円	76,800円	57,000円/102,000円	24,000円
	小	0.2㎡以上 1.6㎡未満	160,000円	64,000円	36,000円/63,000円	20,000円

	面積		1箇所あたりのモデル工事費	補助金額（円/箇所）		
				住宅エコリフォーム推進事業	【参考】	
				モデル工事費から試算した金額※	先進的窓リノベ（Sグレード）	こどもエコすまい（ZEHレベル）
ドア交換	大	開戸：1.8㎡以上 引戸：3.0㎡以上	360,000円	144,000円	—	45,000円
	中	—	—	—	—	—
	小	開戸：1.0㎡以上 1.8㎡未満 引戸：1.0㎡以上 3.0㎡未満	320,000円	128,000円	—	40,000円

注意：実際の工事費用がモデル工事費用より安い場合は補助額も低くなります

※：モデル工事費×40%

補助額イメージ: 設備のモデル工事費

全体改修/建替え

部分改修

- エコ住宅設備については、種類に応じて戸当たり1台分までを補助対象とします
- 燃料電池システム(エネファーム)、蓄電池、LED照明について、モデル工事の設定はありません

エコ住宅設備の種類	モデル工事費
<ul style="list-style-type: none"> • 太陽熱利用システム 	452,000円/戸
<ul style="list-style-type: none"> • 電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯器 (ハイブリッド給湯器) • ヒートポンプ給湯器 (エコキュート) • 潜熱改修型石油給湯器 (エコフィール) • 潜熱改修型ガス給湯器 (エコジョーズ) 	263,000円/戸
<ul style="list-style-type: none"> • 高断熱浴槽 	416,000円/戸
<ul style="list-style-type: none"> • 浴室シャワーの節湯水栓 	57,000円/戸
<ul style="list-style-type: none"> • 燃料電池システム (エネファーム) • 蓄電池 • LED照明 	なし

事業の流れ(施工業者・設計事務所)

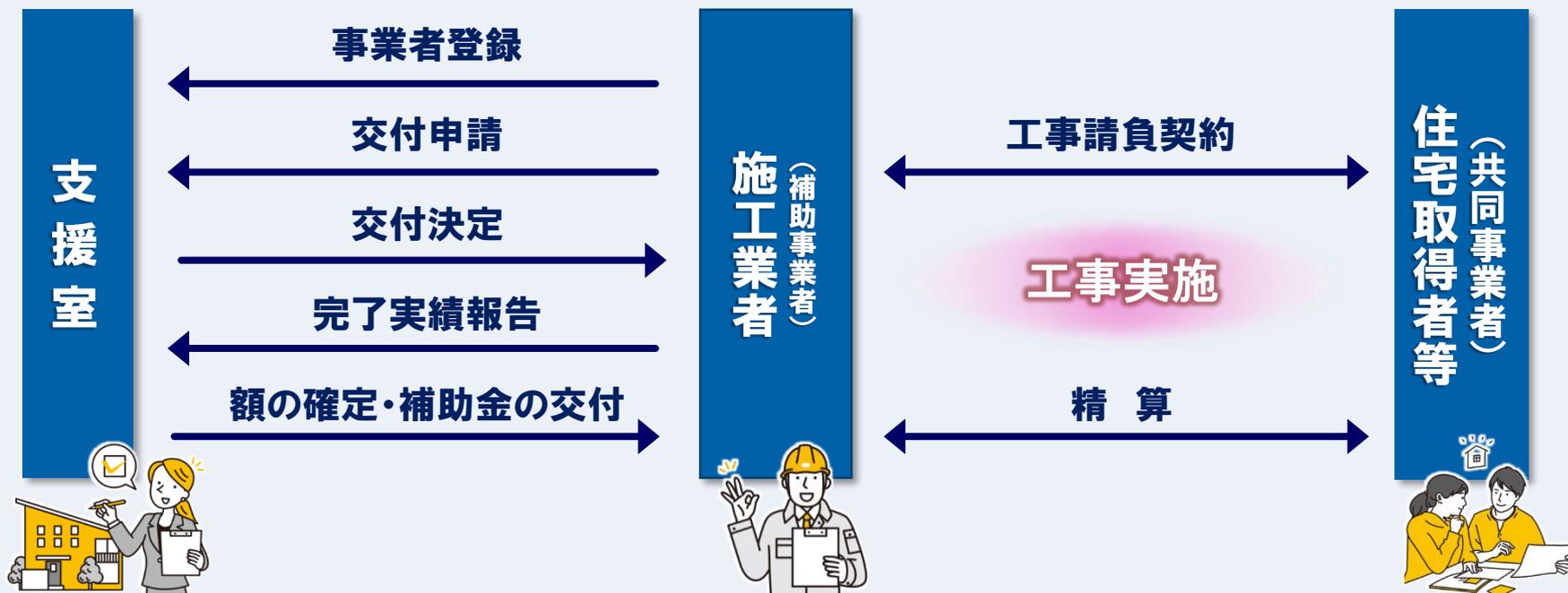
全体改修/建替え

部分改修

※重要

- ・施工業者様が補助事業者として申請手続を行う必要があります。
- ・住宅取得者様等は、共同事業者となります。
- ・補助金は、補助事業者様から住宅取得者様等へ全額還元する必要があります。
- ・事務局への申請は、全て“jGrants”を利用したオンライン手続となります。

<申請フロー図>



事業の流れ(買取再販事業者)

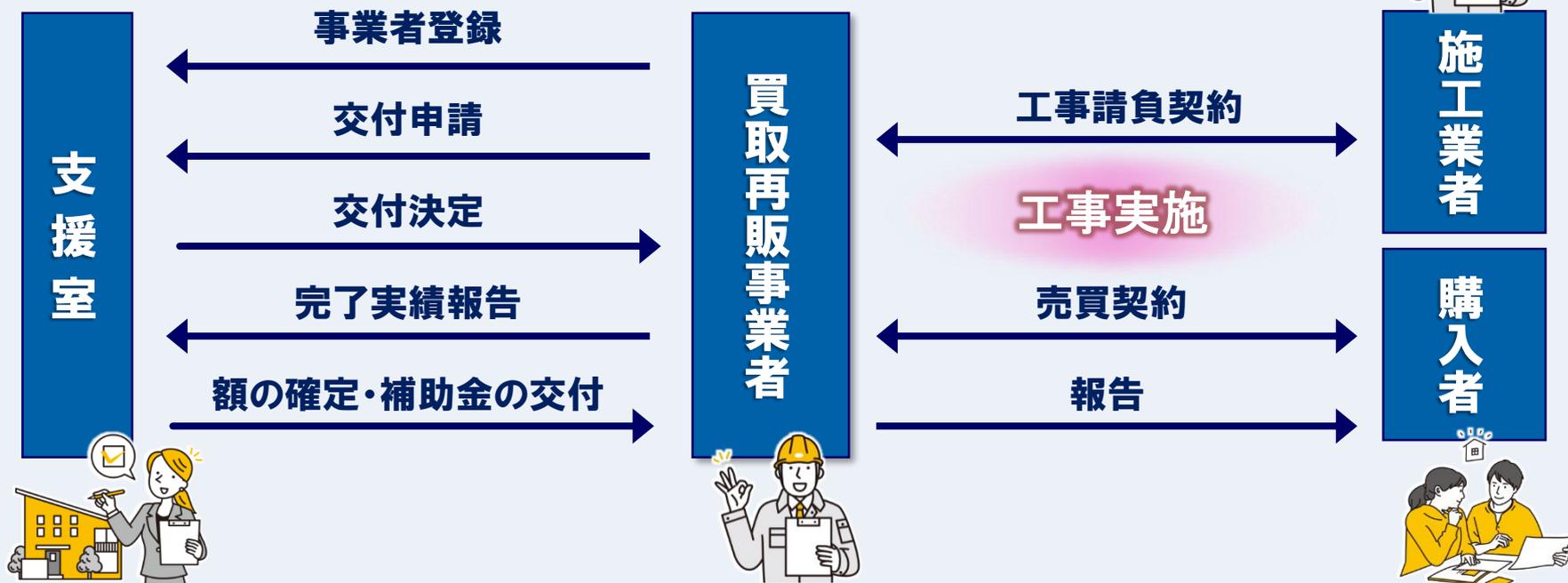
全体改修/建替え

部分改修

※重要

- ・買取再販事業者様が補助事業者として申請手続きを行う必要があります。
- ・事務局への申請は、全て“jGrants”を利用したオンライン手続となります。

<申請フロー図>



他の補助金との併用について

全体改修/建替え

部分改修

- **原則、本事業と補助対象が重複する国の他の補助制度との併用は不可。**
ただし、国費が充当されていない地方公共団体の補助制度については、併用可。
- **本事業で対象とするリフォーム工事の請負工事契約と、他の補助制度で対象とするリフォーム工事の請負工事契約及び工期が別である場合については、併用可。**
- **代表的な補助制度との併用可否については次の通り。**

【併用可】

- ・ 住宅ローン減税等の税制優遇
- ・ 被災者生活再建支援制度

【工事請負契約が別、かつ工期が別である場合は併用可】

- ・ 外構部の木質化対策支援事業
- ・ 住宅・建築物安全ストック形成事業
- ・ 戸建住宅ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）化等支援事業及び集合住宅の省CO2化促進事業
- ・ 次世代省エネ建材支援事業
- ・ 既存住宅の断熱リフォーム支援事業
- ・ 介護保険制度
- ・ 市街地再開発事業への補助
- ・ サステナブル建築物等先導事業
- ・ 災害救助法に基づく住宅の応急修理制度
- ・ 長期優良住宅化リフォーム推進事業
- ・ 地域型住宅グリーン化事業
- ・ **先進的窓リノベ事業**
- ・ **こどもエコすまい支援事業**
- ・ 住宅・建築物省エネ改修推進事業（交付金）

全体スケジュール

全体改修/建替

部分改修

		2023	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024	1月	2月
通常の申請	事業者登録受付	← 2023年4月28日～2023年12月15日(予定) →												
	交付申請受付	← 2023年5月26日～2024年1月19日(予定) →												
	完了実績報告申請	← 2023年6月23日～2024年2月29日(予定) →												
グループ提案	公募期間	↔ 2023年4月28日～2023年6月6日(予定)												
	採択通知	● 2023年6月中旬												
	優先的に予算が確保される期間	← 2023年5月26日～2025年10月31日(予定) →												

gBizID を取得



申請書に
必要事項を記入し郵送
(2週間程度でID郵送)

jGrants にて交付申請

gBizID とは? <https://gbiz-id.go.jp/top/>
(事務局サイトにて動画による手順を確認)

1つのID・パスワードで様々な法人向け
行政サービスにログインできるサービス

- ・法人・個人事業主向け共通認証システム
- ・各種補助金、社会保険の手続きなど
※jGrants (補助金申請システム)、
石綿事前調査結報告システムなどが対象
- ・最初に取得するだけで、有効期限、更新必要なし。

jGrants とは? <https://www.jgrants-portal.go.jp/request-flow>
(申請の流れ/クイックマニュアル)

補助金の電子申請システム
24時間365日手続きが可能

- ・キーワードから目的の補助金を探せ、
申請後はマイページから交付までの状況確認可能
- ・本事業での利用は必須
交付申請 / 完了実績報告書の提出

gBizID を取得



申請書に
必要事項を記入し郵送
(2週間程度でID郵送)

jGrants
にて交付申請

gBizID とは? <https://gbiz-id.go.jp/top/>
(事務局サイトにて動画による手順を確認)

1つのID・パスワードで様々な法人向け
行政サービスにログインできるサービス

- ・法人・個人事業主向け共通認証システム
- ・各種補助金、社会保険の手続きなど
※jGrants (補助金申請システム)、
石綿事前調査結報告システムなどが対象
- ・最初に取得するだけで、有効期限、更新必要なし。

jGrants とは? <https://www.jgrants-portal.go.jp/request-flow>
(申請の流れ/クイックマニュアル)

補助金の電子申請システム
24時間365日手続きが可能

- ・キーワードから目的の補助金を探せ、
申請後はマイページから交付までの状況確認可能
- ・本事業での利用は必須
交付申請 / 完了実績報告書の提出

①登録に必要なものを準備

	メールアドレス (アカウントID) 	操作端末 	プリンター 	印鑑証明と 登録申請書 	スマートフォン または携帯電話
gBizIDエントリー	○	○	×	×	×
gBizIDプライム	○	○	○	○	○
gBizIDメンバー	○	○	×	×	○

**gBizIDプライムは、法人代表者もしくは個人事業主以外は作成できません。
また、書類審査は原則、2週間以内です。ご注意ください。**

gBizIDプライムの作成は次のものがが必要です。

- ① スマートフォンもしくは携帯電話 →ワンタイムパスワードをSMSで受信します。
- ② 印鑑（登録）証明書と登録印 →申請書に押印の後、印鑑（登録）証明書と共に運用センターに送付します。

法人	印鑑証明書※ 法務局発行のもの	代表者印
個人事業主	印鑑登録証明書 市区町村発行のもの	個人の実印

注意：発行日より3ヶ月以内の原本
※年金基金、健康保険組合の方は印鑑証明書に掲載必須の項目があります。下記ファイルを参照し、作成してください。
【ファイルの掲載場所】
「TOPページ」→「利用者向けマニュアル」ページの
「年金基金/健康保険組合向け様式」の下「印鑑証明書フォーマット」

②gBizIDのサイト（<https://gbiz-id.go.jp/top/#getid>）にアクセス

The screenshot shows the gBizID website interface. At the top, there is a navigation bar with the gBizID logo on the left and links for 'ホーム', 'マニュアル', 'ヘルプ', 'リクエスト', and a 'ログイン' button. The main content area has a blue background with the text 'gBizIDへようこそ。' and a sub-header 'GビズIDで、行政サービスへのログインをラクにする。' followed by a descriptive sentence: 'GビズIDは、1つのID・パスワードで様々な行政サービスにログインできるサービスです。' Below this is a section titled 'GビズIDを使い始める' containing two tabs: 'gBizIDの登録' and '委任申請'. Under the 'gBizIDの登録' tab, there are two buttons: 'gBizIDプライム作成' (highlighted with a hand icon and 'CLICK' text) and 'gBizIDエントリー作成'. A callout box at the bottom of the screenshot contains the text 'gBizIDプライムを作成するをクリック'.

③ 法人番号、利用者情報、アカウント情報等を順次入力し書類をダウンロード →書類を印刷しGビズID運用センター宛郵送→2週間ほどでIDが届く

(マニュアル: https://gbizid.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Prime.pdf)

gBizIDプライム申請書作成 基本情報登録

基本情報 | 利用者情報 | アカウント情報 | 確認 | 書類送付

gBizIDプライムのアカウント利用者は、「法人代表者ご自身」又は「個人事業主ご自身」である必要があります。
※既にアカウントを所持されている方は、アカウント申請ができませんので、アカウントの所持状況を確認の上申請をお願いいたします。
※不備がある場合、審査に時間を要する場合がありますので、ご注意ください。

①

事業形態 法人 個人事業主

基本情報

法人番号 必須
法人番号を入力し「法人情報取得」ボタンを押下してください。
 下欄において法人名、法人所在地を自動入力します。
 ※法人番号がわからない場合は、[国税庁法人番号公表サイト](#)より、ご確認ください。
 ※個人事業主の方は入力不要です。

法人名/屋号 必須
※法人の方は入力不要です。

所在地 必須

都道府県
※法人の方は入力不要です。

市区町村
※法人の方は入力不要です。

町名番地、ビル名等
※法人の方は入力不要です。
 ※印鑑証明書の通りに記載してください。

代表者名 必須 姓 名

代表者名フリガナ 必須 セイ メイ

代表者生年月日 必須 年 月 日
※西暦で入力してください。

②

1

① 各項目を入力してください。

※「法人名」、「所在地」は、法人番号を入力し「法人情報取得」ボタンをクリックすると情報取得できます。

※ 法人番号が不明な時は「国税庁法人番号公表サイト」（法人番号入力欄下のリンク先）で検索できます。

② 全ての項目が印鑑証明書の記載と一致していることを確認し「次へ」をクリック（法人番号、フリガナを除く）

※ 印鑑証明書には「法人等番号」が印字されているため
法人番号は桁数が一致しません。また、一部法人において
番号自体が異なる場合があります。

注意：印鑑証明書の記載と異なっている場合、書類不備とみなされ審査に通りませんので、ご注意ください。

- ③法人番号、利用者情報、アカウント情報等を順次入力し書類をダウンロード
 →書類を印刷しGビズID運用センター宛郵送→2週間ほどでIDが届く
 (マニュアル:https://gbizid.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Prime.pdf)

gBizIDプライム申請書作成 アカウント利用者情報登録

基本情報
利用者情報
アカウント情報
確認
書類送付

gBizIDプライムのアカウント利用者は、「法人代表者ご自身」又は「個人事業主ご自身」である必要があります。氏名・フリガナ・生年月日が一致している必要がありますので、代表者情報をアカウント利用者情報にコピーしてください。※既にアカウントを所持されている方は、アカウント申請ができませんので、アカウントの所持状況を御確認の上申請をお願いいたします。
 ※不備がある場合、審査に時間を要する場合がありますので、ご注意ください。

アカウント利用者情報

※ gBizIDプライムのアカウント利用者は、「法人代表者ご自身」又は「個人事業主ご自身」である必要があります。氏名・フリガナ・生年月日が一致している必要があります。

利用者氏名 必須	姓 <input type="text" value="山田"/> 名 <input type="text" value="太郎"/>
代表者情報をコピー	
利用者氏名フリガナ 必須	セイ <input type="text" value="ヤマダ"/> メイ <input type="text" value="タロウ"/>
利用者生年月日 必須	1970 年 1 月 1 日 <small>※西暦で入力してください。</small>
連絡先郵便番号 必須	1020094 (ハイフンなしで入力してください) <small>※数字のみ入力してください。</small>
連絡先住所 基本情報をコピー	都道府県 必須 <input type="text" value="選択してください"/>
	市区町村 必須 <input type="text" value="千代田区 (特別区、政令指定都市の区はこちらに記入ください)"/>
	町名番地等 必須 <input type="text" value="紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町19F・20F"/>
	ビル名等 <input type="text"/>
部署名	<input type="text" value="総務部"/>
連絡先電話番号	<input type="text"/> <small>ハイフンなしで入力してください ※連絡の取れる電話番号を入力してください。 ※数字のみ入力してください。</small>

戻る
次へ

2

①各項目を入力してください。

※「利用者氏名」、「利用者生年月日」は、前頁の基本情報と一致している必要がありますので「基本情報をコピー」をクリックしてください。

※ 連絡先住所と基本情報の住所が同一の場合は「基本情報をコピー」をクリックしてください。
 審査不備となった場合は、こちらの住所へ送付されます。

②入力できたら「次へ」をクリック！

出展・参考：デジタル庁 gBizID「GビズIDクイックマニュアル gBizIDプライム編」

34

- ③法人番号、利用者情報、アカウント情報等を順次入力し書類をダウンロード
 →書類を印刷しGbizID運用センター宛郵送→2週間ほどでIDが届く
 (マニュアル:https://gbizid.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Prime.pdf)

gBizIDプライム申請書作成 アカウント情報登録

基本情報 利用者情報 **アカウント情報** 確認 書類送付

SMS受信用電話番号は、GbizID利用時の本人確認（ワンタイムパスワードの通知）に利用いたします。ご本人にてSMSの受信可能な番号を登録してください。
 利用規約に同意の上、申請書作成ボタンを押下してください。
 ※既にアカウントを所持されている方は、アカウント申請ができませんので、アカウントの所持状況を御確認の上申請をお願いいたします。
 ※不備がある場合、審査に時間を要する場合がありますので、ご注意ください。

①

アカウント情報

アカウントID (メールアドレス) <small>必須</small>	メールアドレスを入力してください
アカウントID (メールアドレス) (確認用) <small>必須</small>	メールアドレスを入力してください
SMS受信用電話番号 <small>必須</small>	ハイフンなしで入力してください <small>※数字のみ入力してください。 ※SMS（ショートメッセージサービス）を受信できる端末（携帯電話、スマートフォン）の電話番号を入力してください。</small>

3

①各項目を入力してください。

※ アカウントID（メールアドレス）について

support@gbiz-id.go.jpからのメールを受信可能な状態にしてください。

※ SMS受信用電話番号について

ショートメッセージサービスを受け取れる、
 携帯番号、スマートフォンの電話番号を記載してください。

③法人番号、利用者情報、アカウント情報等を順次入力し書類をダウンロード
 →書類を印刷しG BizID運用センター宛郵送→2週間ほどでIDが届く
 (マニュアル: https://gbizid.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Prime.pdf)

4

G BizIDサービス
利用規約

(目的)
第1条 この利用規約(以下「本利用規約」という。)は、経済産業省(以下「本サービス提供者」という。)が提供するG BizIDサービス(以下「本サービス」という。)の利用に関し、必要な事項を定めることを目的とします。

規約に同意する

トップページへ 申請書作成

- ①規約を確認いただきましたらチェックボックスにチェック
- ②「申請書作成」ボタンを押下します。

6

申請書作成 (情報入力) 申請書作成 (情報確認) 書類送付

※申請はまだ完了していません。
 必要書類を送付いただき、審査完了ののち、登録いただいたメールアドレスに連絡いたします。また、審査には一定の期間を要します。

申請書をダウンロードしてください。
 また、申請書は印刷の上、印鑑(登録)証明書の印鑑を押印いただき、印鑑(登録)証明書(一通)とあわせてG BizID運用センターに郵送してください。
 なお、ダウンロードした申請書は大切に保管してください。

申請書ダウンロード

- ①「申請書ダウンロード」ボタンを押下します。
- ②表示された申請書を印刷します。

5

個人事業主

基本情報

法人番号	G BizID商店		
法人名/屋号	G BizID商店		
所在地	都道府県	東京都	
	市区町村	千代田区	
	町名番地、ビル名等	藤ヶ岡1-3-1	
代表者名	地井尾 太郎		
代表者名フリカナ	ジイビズ タロウ		
代表者生年月日	1999年12月31日		
アカウント利用者情報			
利用者氏名	地井尾 太郎		
利用者氏名フリカナ	ジイビズ タロウ		
利用者生年月日	1999年12月31日		
連絡先郵便番号	1111111		
連絡先住所	都道府県	東京都	
	市区町村	千代田区	
	町名番地等	藤ヶ岡1-3-1	
	ビル名等		
部署名	総務部		
SMS受信電話番号	08033527081		
連絡先電話番号	0311111111		
アカウントID (メールアドレス)	masahiro.kiyota@ntt.com		

修正 OK

- ①申請内容を確認します。
- ②問題なければ「OK」ボタンを押下します。

GビズID クイックマニュアル gBizIDプライム編 ver1.7 2022年5月

GビズIDについて

GビズIDの概要を説明します。

- GビズIDの概要**

GビズIDとは、1つのアカウントにより複数の行政サービスにアクセスできる認証システムです。

【イメージ図】

●アカウント体系

GビズIDには次の3種類のアカウントがあります。

- 1 gBizIDエントリー** オンラインで即日作成可能なアカウント
- 2 gBizIDプライム** 印鑑証明書（個人事業主は印鑑登録証明書）と登録印鑑を押印した申請書を運用センターに郵送し、審査（原則2週間以内）のち作成される。法人代表者もしくは個人事業主のアカウント
- gBizIDメンバー** 組織の従業員用のアカウントとして、gBizIDプライムの利用者が自身のマイページで作成するアカウント。gBizIDプライムが許可したサービスのみ利用できる

※法人の場合は、同じ法人番号の組織に属する方のみ作成可能

●アカウント登録に必要なもの

GビズIDを利用するには、次のものが必須です。

アカウント種類	メールアドレス (アカウントID)	操作端末	プリンター	印鑑証明書と登録申請書	スマートフォンもしくは携帯電話
gBizIDエントリー	○	○	×	×	×
gBizIDプライム	○	○	○	○	○
gBizIDメンバー	○	○	×	×	○

GビズIDシステムへのアクセス方法

●GビズID TOPページ URL: <https://gbiz-id.go.jp>
GビズIDのTOPページは、アカウント作成、アカウント管理、および委任登録ができます。

1. gBizIDプライムを作成する (gBizIDエントリーをお持ちでない方) 申請書費: 必要

アカウントを持っていない方がgBizIDプライムのアカウントを作成する手順です。gBizIDプライムは、法人代表者もしくは個人事業主以外では作成できません。また、書類審査は原則、2週間以内です。ご注意ください。

- 【事前に】** gBizIDプライムの作成は次のものが必須です。
 - ①スマートフォンもしくは携帯電話 (ワンタイムパスワードをSMSで受信します。)
 - ②印鑑（登録）証明書と登録印 申請書に押印の後、印鑑（登録）証明書と共に運用センターに送付します。
- 3-A(2)**
 - ①各項目を入力してください。
 - ※「利用者氏名」「利用者生年月日」は、前頁の基本情報と一致している必要がありますので「基本情報」をコピーして貼り付けてください。
 - ※連絡先住所と基本情報の住所が同一の場合は「基本情報」をコピーして貼り付けてください。審査不備となった場合は、こちらの住所へ送付されます。
 - ②入力できたら「次へ」をクリックしてください。
- 3-A(1) 法人の場合（個人事業主は3-B参照）**
 - ①各項目を入力
 - ※「法人名」「法人情報」
 - ※法人番号を入力（法人）
 - ②全ての項目を確認し、「次へ」をクリック
 - ※印鑑証明書は法人番号引いては番号
 - 注意：印鑑証明書は必ずご注意
- 3-A(3)**
 - ①各項目を入力してください。
 - ※アカウントID（メールアドレス）について support@gbiz-id.go.jp からのメールを受信可能な状態にしてください。
 - ※SMS受信用電話番号について ショートメッセージサービスを受け取る、携帯番号、スマートフォンの電話番号を記載してください。

●アカウント作成後のログイン方法

gBizIDエントリーはID/パスワードのみでGビズIDマイページやgBizIDプライムおよびgBizIDメンバーは、ID/パスワードに加えgBizIDエントリー ID/パスワード gBizIDプライム ID/パスワード

専用アプリ起動してID/パスワードを押下 ※SMS認証も利用可能

GビズIDマイページまたは、行政システムへアクセス

詳細は「GビズIDクイックマニュアル」を参照。丁寧になりやすく説明が記載されています。

gBizID を取得



**申請書に
必要事項を記入し郵送
(2週間程度でID郵送)**

jGrants にて交付申請

gBizID とは? <https://gbiz-id.go.jp/top/>
(事務局サイトにて動画による手順を確認)

1つのID・パスワードで様々な法人向け
行政サービスにログインできるサービス

- ・法人・個人事業主向け共通認証システム
- ・各種補助金、社会保険の手続きなど
※jGrants (補助金申請システム)、
石綿事前調査結報告システムなどが対象
- ・最初に取得するだけで、有効期限、更新必要なし。

jGrants とは? <https://www.jgrants-portal.go.jp/request-flow>
(申請の流れ/クイックマニュアル)

**補助金の電子申請システム
24時間365日手続きが可能**

- ・キーワードから目的の補助金を探せ、
申請後はマイページから交付までの状況確認可能
- ・本事業での利用は必須
交付申請 / 完了実績報告書の提出

このサイトは日本政府公式Webサイトです ▼

jGrants

補助金を探す

申請の流れ

よくあるご質問

API

ログイン



ネットでいつでも！ 補助金申請

応募から、採択後の手続きまで完結。

国や自治体の補助金が、誰でも簡単に申請できます。

補助金を探す



24時間受け付けてます！

FAQチャット



<https://www.jgrants-portal.go.jp/>
(マニュアル : <https://onl.la/3UrtHcD>)

このサイトは日本政府公式Webサイトです ▼

jGrants

補助金を探す

申請の流れ

よくあるご質問

API

ログイン

ログイン

jGrantsから補助金の申請を行うにはGビズIDの取得が必要です。あらかじめご用意をお願いします。

- GビズIDとは、法人又は個人事業主の方が各種行政サービスを電子申請頂く際にご利用いただけるログインアカウントです。
- jGrants利用可能なGビズIDの種別 [詳細を見る](#)

gBizIDプライム（法人等の代表者アカウント）

gBizIDメンバー（組織の従業員用アカウントとしてプライムが許可したアカウント）

GビズIDでログインする

GビズIDを取得する

24時間受け付けてます！

FAQチャット



GビズIDでログインする を押下。

2 件中の 1 件目 ~ 2 件目を表示

補助金名	補助金上限額	対象地域	従業員数	募集期間 ↑
住宅エコリフォーム推進事業	512,700 円	全国	従業員の制約なし	2022年4月1日 ~ 2023年1月13日
住宅エコリフォーム推進事業【事業者登録】	0	全国	従業員の制約なし	2022年4月1日 ~ 2023年1月13日

2 件中の 1 件目 ~ 2 件目を表示

申請対象の補助金名「住宅エコリフォーム推進事業【事業者登録】」を押下すると、補助金の申請詳細画面に遷移します。

令和4年度 【住宅エコリフォーム推進事業】 電子申請マニュアル

～事業者登録編～

2022年8月31日
(住宅エコリフォーム推進事業実施支援室)

詳細は「電子申請マニュアル」を参照。
丁寧にわかりやすく説明が記載されています。

<最後に>

本資料は2023年5月2日時点の情報を要約したものです。

詳しくは『住宅エコリフォーム推進事業実施支援室』

ホームページをご確認ください。

住宅エコリフォーム推進事業

検索



本日のランナップ（90分）

はじめに

1. 住宅エコリフォーム推進事業 概要解説

- ✓ 概要説明 … (30)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

2. 次世代省エネ建材の実証支援事業

- ✓ 概要説明 … (25)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

再掲：先進的窓リノベ・こどもエコとの補助額比較

(万円/箇所)	面積	先進的窓リノベ事業 (戸建て)			こどもエコすまい [ZEHLレベル]	住宅エコリフォーム※	(窓リノベS・こどもエコ) と住宅エコ比較
		SS (Uw1.1以下)	S (Uw1.5以下)	A (Uw1.9以下)			
内窓設置	大	12.4	8.4	6.9	3.1	9.9	+1.5
	中	8.4	5.7	4.7	2.4	7.6	+1.9
	小	5.3	3.6	3.0	2.0	6.4	+2.8
外窓交換 (カバー) (はつり)	大	18.3	12.4	10.2	3.1	9.9	▲2.5
	中	13.6	9.2	7.6	2.4	7.6	▲1.6
	小	9.1	6.2	5.1	2.0	6.4	+0.2
ドア引戸	大	補助対象外			4.5	14.4	+9.9
	小				4.0	12.8	+8.8

※：上記はモデル工事費×40%で算出。モデル工事費×40%・実際の工事費×40%のいずれか低い方が補助額となります。

新制度 補助対象 主要製品 リフォーム専用品【戸建の場合】

住宅エコリフォーム推進事業



○:対象 ×:対象外

※詳細は当社ホームページに掲載している対象製品一覧をご確認ください。

※ガラスの仕様については、詳細版を参照ください。

制度・グレード・地域		先進的窓リノベ			こどもエコすまい					住宅エコリフォーム	
		SS	S	A	ZEHレベル		省エネ基準レベル			ZEHレベル	
		全地域			全地域	4地域以南	全地域	4地域以南	5地域以南	全地域	4地域以南
Ud値		~1.1	~1.5	~1.9	~1.9	~2.3	~2.3	~3.5	~4.7	~1.9	~2.3
ドアリモ 玄関ドア D30 断熱ドア	D2/採光無/片開き・親子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	D2/採光無/ランマ付・袖付き	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	D2/採光付/片開き・親子 (通風ドア含む)	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	D2/採光付/ランマ付・袖付き (通風ドア含む)	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	D4/採光無/片開き・親子	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	D4/採光無/ランマ付・袖付き	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
	D4/採光付/片開き・親子 (通風ドア含む)	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
	D4/採光付/ランマ付・袖付き (通風ドア含む)	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
ドアリモ 玄関ドア D30 防火ドア	D2/採光付/片開き・親子	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
	D4/採光付/片開き・親子	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×

制度上、ドアは対象外

○:対象 **×:対象外**

※詳細は当社ホームページに掲載している対象製品一覧をご確認ください。
※ガラスの仕様については、詳細版を参照ください。

制度・グレード・地域		先進的窓リノベ			こどもエコすまい					住宅エコリフォーム	
		SS	S	A	ZEHレベル		省エネ基準レベル			ZEHレベル	
		全地域			全地域	4地域以南	全地域	4地域以南	5地域以南	全地域	4地域以南
Ud値		~1.1	~1.5	~1.9	~1.9	~2.3	~2.3	~3.5	~4.7	~1.9	~2.3
ドアリモ 勝手口ドア 断熱タイプ	採光/Low-E複層/ガス入り 12mm以上/樹脂スペーサー	制度上、ドアは対象外	×	○	○	○	○	○	×	○	
	採光/Low-E複層 /空気層12mm以上		×	×	×	○	○	×	×		
	通風/Low-E複層 /空気層12mm以上		×	×	×	○	○	×	×		
ドアリモ 勝手口ドア アルミタイプ	アウトセット枠 採光 /複層/空気層10mm以上		×	×	×	×	○	×	×		
カバー枠 採光 /複層/空気層6mm以上	×		×	×	×	○	×	×			
ドアリモ 玄関引戸	A09,C08,C09以外 ランマ無のみ/Low-E複層 /空気層6mm以上		×	×	×	×	○	×	×		
	A09,C08,C09 ランマ無のみ/Low-E複層 /空気層7mm以上		×	×	×	×	○	×	×		
	袖付2枚連動 /Low-E複層/ガス入6mm以上		×	×	×	×	○	×	×		

○:対象 ×:対象外

※詳細は当社ホームページに掲載している対象製品一覧をご確認ください。

制度・グレード・地域		先進的窓リノベ				こどもエコすまい						住宅エコリフォーム		
		SS	S	A	B※	ZEHLレベル			省エネ基準レベル			ZEHLレベル		
		全地域				全地域	3地域以南	4地域以南	全地域	4地域以南	5地域以南	全地域	3地域以南	4地域以南
Ud値		~1.1	~1.5	~1.9	~2.3	~1.9	~2.3	~2.9	~2.3	~3.5	~4.7	~1.9	~2.3	~2.9
ドアリモ マンションドア (換気機能付除く)	ガラスウール構造 ポストあり	制度上、ドアは対象外	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○
	ガラスウール構造 ポストなし		×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○
	水酸化アルミ紙ハニカム構造 ポストあり・ポストなし		×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
ドアリモ アパートドア	D2仕様／採光なし・採光あり ポストあり・ポストなし ランマ付・ランマ無		×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○
	D4仕様／採光なし ポストあり・ポストなし ランマ付・ランマ無		×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×

※Bグレードは中高層集合住宅(4階以上)のカバー工法のみ設定があるグレード。
 ※ドアデザイン・枠種・錠種類によって本表に該当しない場合があります。

訂正内容: 開口部の断熱改修の補助額の算出について

【誤】 各部位ごとにモデル工事費または実際の工事費を算出し、それぞれ低い方×40%を合計

【正】 モデル工事費または実際の工事費の合計の低い方×40%

全体改修/建替え

部分改修

玄関ドア・勝手口ドア

窓: 大1か所

の場合(4地域以南)



玄関ドア(大)

モデル工事費 36万円×40% = 14.4万円
 実際の工事費 55万円×40% = 22.0万円

勝手口ドア(小)

モデル工事費 32万円×40% = 12.8万円
 実際の工事費 40万円×40% = 16.0万円

内窓(大)

モデル工事費 24.8万円×40% = 9.9万円
 実際の工事費 20万円×40% = 8.0万円

合計

モデル工事費 92.8万円×40% = **37.1万円**
 実際の工事費 115万円×40% = 46万円

合計: **37.1万円** → **上限35万円**

窓リノベ+こどもエコを使用した場合 (内窓Aグレード)

合計: **35.0万円**

合計: **15.4万円**

+19.6万円 お得

訂正内容: 開口部の断熱改修の補助額の算出について

【誤】 各部位ごとにモデル工事費または実際の工事費を算出し、それぞれ低い方×40%を合計

【正】 モデル工事費または実際の工事費の合計の低い方×40%

全体改修/建替

部分改修

玄関ドア

窓: 大1か所

エコ住宅設備

の場合



合計: 48.6万円 → 上限35万円

合計: 35.0万円

玄関ドア(大)

モデル工事費 36万円×40% = 14.4万円
 実際の工事費 55万円×40% = 22.0万円

内窓(大)

モデル工事費 24.8万円×40% = 9.9万円
 実際の工事費 20万円×40% = 8.0万円

開口部補助額の合計: モデル工事費から算出 24.3万円
 実際の工事費から算出 30.0万円

エコ住宅設備 ※全てモデル工事費で算出

高断熱浴槽 41.6万円×40% = 16.6万円
 シャワーの節湯水栓 5.7万円×40% = 2.2万円
 エコキュート 26.3万円×40% = 10.5万円

エコ住宅設備合計: 29.3万円

エコ住宅設備の補助額は
 開口部・断熱改修の合計額が上限

エコ住宅設備合計: 24.3万円

本日のランナツプ（90分）

はじめに

1. 住宅エコリフォーム推進事業 概要解説

- ✓ 概要説明 … (30)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

2. 次世代省エネ建材の実証支援事業

- ✓ 概要説明 … (25)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

次世代省エネ建材の実証支援事業 (一次公募、予算約4億円)

【ポイント】

省エネ改修の促進が期待される工期短縮可能な 高性能断熱材などの効果実証を支援する事業

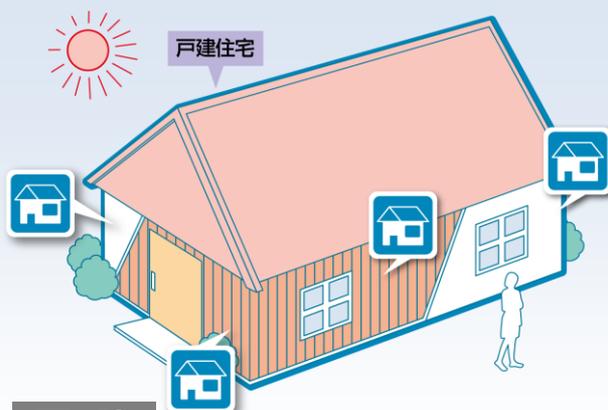
- ・外張り断熱、内張り断熱、窓断熱の3つのタイプ
- ・4年に渡って実施されている事業。**毎年少しずつ変更点あり**
- ・補助額の大きさが魅力 外張り 最大 1/2 400万円/戸 ※1地域~3地域
- ・窓断熱は全ての窓、ドアの改修が必要 最大 1/2 150万円/戸 ※戸建のみ
- ・**内窓は対象外、マドリモは『防災ガラス窓』区分、ドアリモは対象商品なし**

全窓交換するならしっかり押さえたい補助金です！

出典「令和5年度次世代建材 | 事業概要パンフレット (一般社団法人 環境共創イニシアティブ)」

外張り断熱

外断



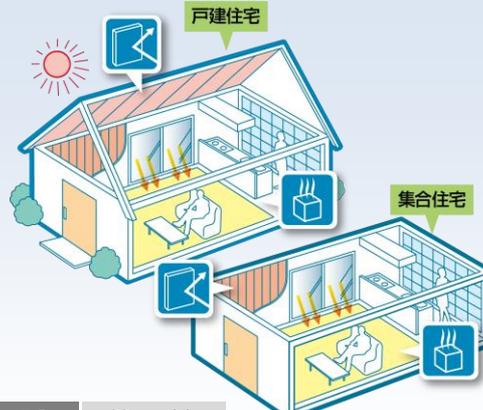
戸建

必須

外壁全ての外張り断熱改修

内張り断熱

内断



戸建

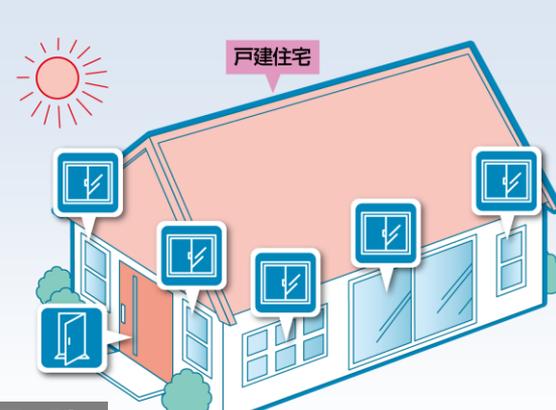
集住

必須

断熱パネル or 潜熱蓄熱建材

窓断熱

窓断



戸建

必須

全ての開口部 (窓・玄関ドア)

任意

窓・玄関ドア
断熱材、断熱パネル など

任意

窓、防災ガラス窓、玄関ドア
断熱材、調湿建材

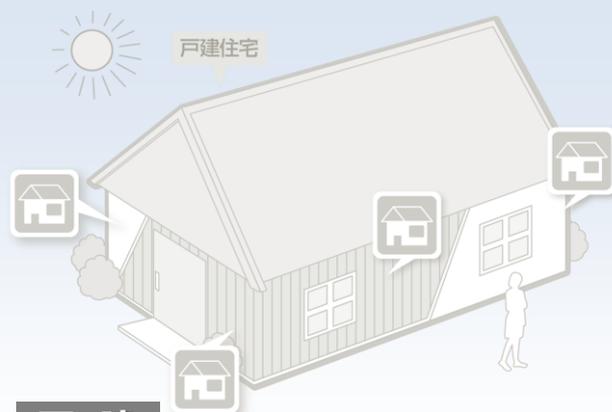
任意

断熱パネル、断熱材
潜熱蓄熱建材、調湿建材

必須製品(工事) + 任意製品(工事)の組合せがそれぞれ異なる

外張り断熱

外断



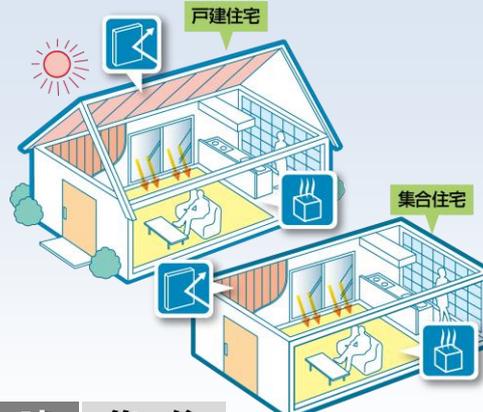
戸建

必須

外壁全ての外張り断熱改修

内張り断熱

内断



戸建 集住

必須

断熱パネル or 潜熱蓄熱建材

窓断熱

窓断



戸建

必須

全ての開口部 (窓・玄関ドア)

任意

窓・玄関ドア
断熱材、断熱パネル など

任意

窓、防災ガラス窓、玄関ドア
断熱材、調湿建材

任意

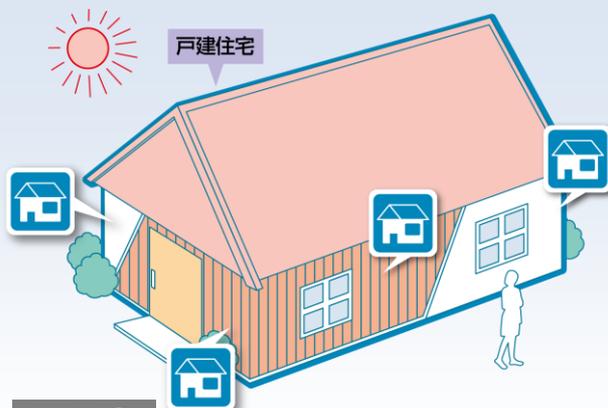
断熱パネル、断熱材
潜熱蓄熱建材、調湿建材

カバー工法が対象なのはココだけ!

出典「令和5年度次世代建材 | 事業概要パンフレット (一般社団法人 環境共創イニシアティブ)」

外張り断熱

外断



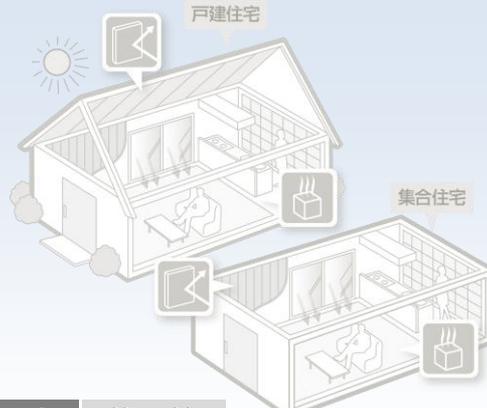
戸建

必須

外壁全ての外張り断熱改修

内張り断熱

内断



戸建

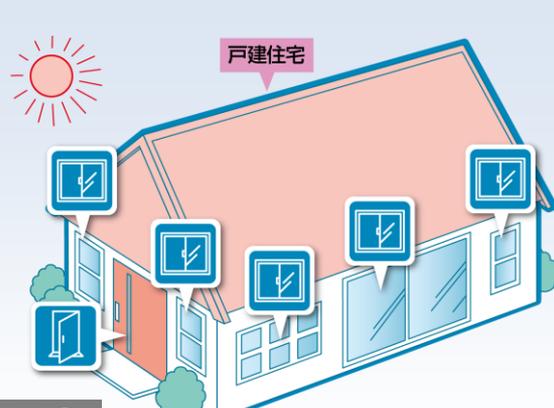
集住

必須

断熱パネル or 潜熱蓄熱建材

窓断熱

窓断



戸建

必須

全ての開口部 (窓・玄関ドア)

任意

窓・玄関ドア
断熱材、断熱パネル など

任意

窓、防災ガラス窓、玄関ドア
断熱材、調湿建材

任意

断熱パネル、断熱材
潜熱蓄熱建材、調湿建材

外張りやるなら、
ついでに窓・ドアを追加へ

全開口部工事するなら
有望な選択肢

窓 = 防火仕様、防風仕様・防犯仕様(シャッター、雨戸、面格子一体)の外窓

防災ガラス = 60mil 以上の中間膜の合わせガラスを用いた複層ガラス

窓 (防火・防風・防犯仕様)

防風・防犯仕様の窓とはシャッター、雨戸、面格子が一体になった外窓のことをいう

防犯ガラス窓

カバー工法

窓に用いるガラスは、JIS認証 (JIS R 3205) を取得したガラスであり
且つ中間膜の厚さが60mil (1.52mm) 以上の物であること

例) ガラス仕様が「複層」の窓においては「フロートガラス等」と要件を満たした
「合わせガラス」の複層ガラスを用いること

合わせガラス (JIS R 3205)

フロートガラス等

中間膜 [60mil (1.52mm) 以上]

中空層 (SIIに登録されている厚さ以上)

スペーサー

外窓

採用予定のガラス総厚を確認し、申請する窓に取り付け可能か必ず確認すること

- ✓ 対象商品は限定的
- ✓ マドリモは「防災ガラス窓」

防火仕様の全窓交換物件に有効
(性能向上リノベ物件など)

特に重要な点

- ・ **申請者（補助申請者）は補助を受けるもの** が主体となっていく
- ・ **ただし、手続き代行者に依頼することができる** ※施工する事業者や代行会社となることが多い
- ・ **交付決定後に、契約・発注・着工ができる**

補助金取得の要件

改修区分	住宅区分	主な内容・条件等 共通：既存住宅のみ対象	補助率	補助額上限	
外張り断熱 外断	戸建住宅	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 戸建住宅の外気に接する外壁全てを外張り断熱工法等にて改修すること（本事業への登録有無は問わない） ➢ 本事業の要件を満たした効果測定を行い報告すること 	1/2以内	地域区分 1～4地域 400万円/戸	
				地域区分 5～8地域 300万円/戸	
内張り断熱 内断	戸建住宅 集合住宅	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 断熱パネル or 潜熱蓄熱建材の改修（本事業に登録されている製品に限る） 		戸建住宅 200万円/戸	下限額 20万円 ・ 補助対象 経費 40万円 以上
				集合住宅 150万円/戸	
窓断熱 窓断	戸建住宅	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 全ての開口部を窓（防火・防風・防犯仕様）及び玄関ドアを改修すること（本事業に登録されている製品に限る） 		150万円/戸 任意製品と併用する場合 200万円/戸	

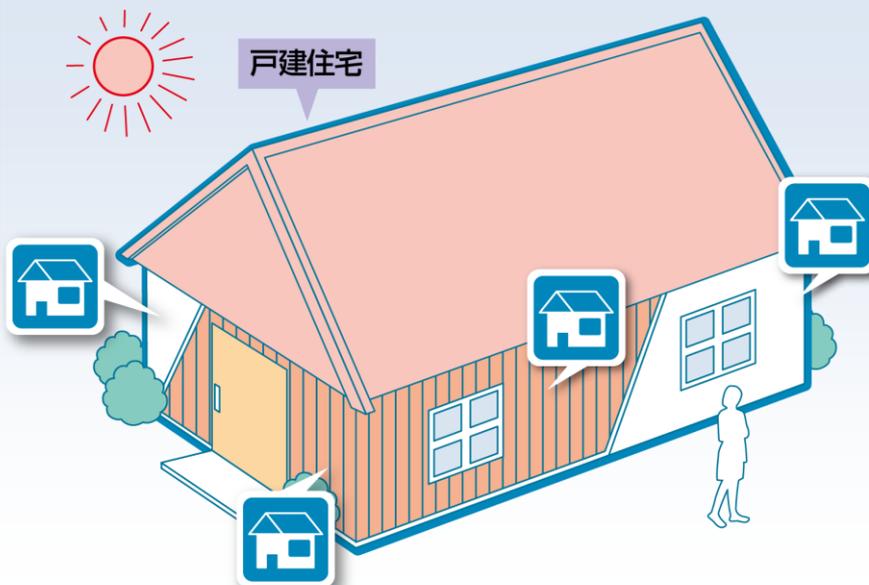
期間（予定）

- ・ **一次公募期間** : 2023年5月8日 から 2023年8月25日
- ・ **二次公募期間** : 2023年9月4日 から 2024年11月30日
- ・ **実施報告書提出期限** （一次） 2023年12月8日 / （二次） 2024年1月12日

外断

外張り断熱

外断



補助金額

- ・補助率
補助対象経費の $1/2$ 以内
- ・補助金の上限額
1～4地域：400万円/戸
5～8地域：300万円/戸

住宅区分

戸建住宅

戸建

出典「令和5年度次世代建材 | 事業概要パンフレット (一般社団法人 環境共創イニシアティブ)」

補助対象となる製品

未使用品であること

必須

外壁全ての外張り断熱改修



断熱材(外壁)

※登録有無を問わない

任意

窓・玄関ドア
断熱材、断熱パネル など



断熱材(天井/床)



窓



玄関ドア



断熱パネル



潜熱蓄熱建材



調湿建材



高効率
換気システム

※SII登録製品

補助対象経費

外断

申請金額＝下表にある補助対象経費の合計額×1/2

経費区分		項目
補助対象経費	設計費	<ul style="list-style-type: none"> ・実経費を算出するための実測値 ・本事業の効果測定に要する費用
	材料費 設備費	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象製品の購入費
	工事費	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象製品の取付費及び、その取付に必要な部材と取付費 ・補助対象製品の取付け・敷設に必要な下地材等 ・補助対象製品の取付け・敷設に伴う既存壁の解体撤去費（場内集積まで） ・補助対象製品以外の気密性向上に必要な部材と取付費（気密シート等） ・気流止め・通気止めの部材と取付費 ・窓設置の為の下地材と取付費
補助対象外 経費		<ul style="list-style-type: none"> ・上記に記載した補助対象経費の設計費以外の設計費用等 ・養生費、清掃費、美装費、搬入費、仮設足場日 ・給排水、電気等の設備工事費及び設備機器等の購入費用 ・クロス、外壁サイディング（断熱材注入サイディング含む）フローリング、窓額縁材等の仕上げ材、網戸、面格子等の窓付属部材 ・サイディング胴縁、壁透湿シート、屋根防水シート等の下地材と取付費 ・土台・大引き・柱等の構造材、床下地合板、石膏ボード等の下地面材と取付費 ・諸経費、書類等の補助対象製品以外の送料、交通費、廃材処分費、管理費、調査費、消費税および地方消費税、法定外福利費 ・金融機関に対する振込手数料等

性能要件・施工要件等

外断

地域区分

【性能要件】

地域区分	1	2	3	4	5	6	7	8
外皮平均熱貫流率 (UA値)	0.40 以下		0.50 以下		0.60 以下			下記参照

【施工要件】

A) 必須

以下の要件を**全て満たすこと**。

- 外気に接する外壁全てを屋外から施工する断熱工事（外張り断熱工法等）にて改修すること。
既存外壁の**充填断熱工法による改修は認めない**。
ただし、既存断熱材に劣化・欠損等ある場合は、撤去・再充填は認めるが、係る費用については補助対象外とする。
- 原則、既存構造材を撤去せずに施工すること**。
- 施工困難な箇所がある場合、事前にSIIへ相談すること。

B) その他

- A) を満たし、同時に以下の施工をする場合に限り、補助対象とする。
 - 屋根は屋根断熱又は天井断熱、床は基礎断熱又は床下断熱での断熱改修。
 - 窓、玄関ドア、勝手口ドア等の開口部の改修。
 - 高効率換気システムの導入及び、本事業に登録されている製品（断熱パネル、潜熱蓄熱建材、調湿建材）を室内側から導入する改修。

- (注1) 外皮において、断熱欠損がないように施工すること。
- (注2) 構造体の強度チェックを行うこと。
- (注3) 雨じまいの担保を行うこと。
- (注4) 防火規制区域の場合は、防火に関する法規制適合を確認すること。
- (注5) 高効率換気システムを導入する場合は、建物全体の換気を考慮すること。

1～7
地域

8地域

【性能要件】

「屋根」又は「最上階の天井」の熱抵抗値（R値）を、**原則 2.7 以上とする**。 ※外壁のR値、UA値は不問とする。

【施工要件】

A) 必須 ※1～7地域 同様

B) パッシブデザインの積極採用

主たる居室の主要な開口部について、日射遮蔽効果の高い庇や外付けルーバー等を設置するか、建設地風況や設置高低差を考慮した開口部配置、通風勝手口、欄間付き建具、格子戸等屋外の自然風を効果的に取り込み、住戸内の通風を促進した設計を導入すること。

付帯事項

外断

本事業の要件を満たした効果測定を行い報告すること

効果測定

改修後の住宅における消費エネルギー量の変化を測定する

①測定期間

2023年12月1日(金) ~2024年1月5日(金) の内、1日

②測定場所

- ・暖房器具が設置された居室の中心付近（床上10cm、100cmの2箇所）
- ・地面から150cm~200cmの高さで、建物から100cm程度離れた屋外（1箇所）

③測定方法

- ・暖房器具を18時~24時の間に3時間以上運転した後、停止
- ・暖房機を停止した時とそれから1時間おきに9回（計10回）の室温データを記録式測定器にて測定する
- ・同時刻の外気温も上記の測定器にて測定する

④提出方法、期限

- ・SIIが定める定型様式に結果を記載して2024年1月5日（金）17時までに提出のこと

アンケートへの協力

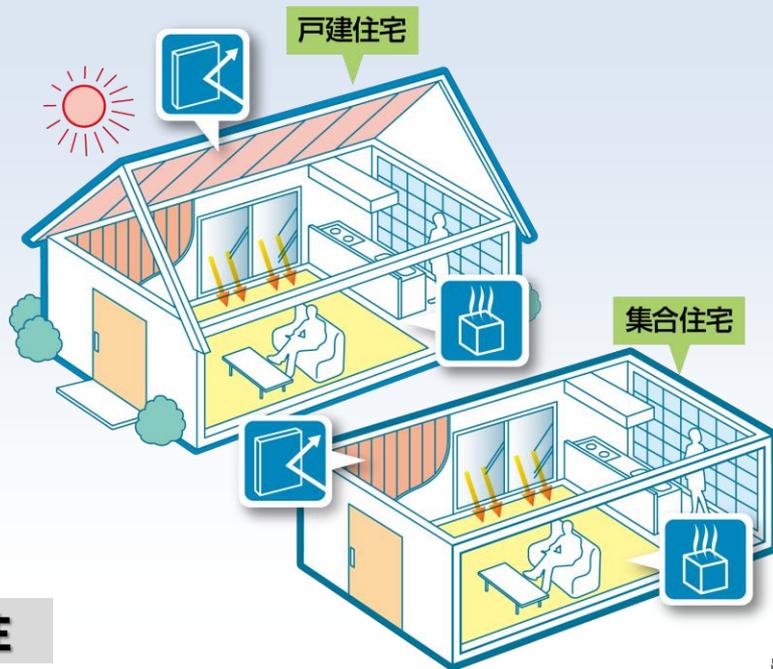
申請者に対して本事業でリフォームをした目的、リフォーム後の住み心地冷房時設定温度等についてアンケートを実施するのでこれへ協力のこと

- ・アンケート結果は個人情報を除いて公表する
- ・アンケートへの回答がない場合には補助金の返還を求めることもある
- ・アンケートの提出期限は2024年2月下旬

内断

内張り断熱

内断



戸建

集住

補助金額

- ・補助率
補助対象経費の **1/2**以内
- ・補助金の上限額
戸建：**200**万円/戸
集合：**125**万円/戸
- ・補助金の下限額
戸建・集合とも：**20**万円/戸

住宅区分

戸建住宅・集合住宅

出典「令和5年度次世代建材 | 事業概要パンフレット (一般社団法人 環境共創イニシアティブ)」

補助対象となる製品

未使用品であること

必須

断熱パネル or 潜熱蓄熱建材



断熱パネル



潜熱蓄熱建材

※全てSII登録製品

任意

窓、防災ガラス窓、玄関ドア
断熱材、調湿建材



断熱材



窓
(防火・防風・防犯)



防災ガラス窓



玄関ドア



調湿建材

※全てSII登録製品

導入要件・施工要件

内断

【①断熱パネル】

- 室内側から施工すること。**床下、壁の外側、天井裏から施工するものは対象としない。**
- 施工範囲に居室※1を含むこと。**
- 改修する居室等の床、壁、天井の**少なくとも1部位について、外気に接する全面を改修すること。**
 なお、コンセントやスイッチ等によりパネルの割り付けが困難な箇所においては、適切な断熱補強を施すこと。
 また、断熱パネルの外気に接する部分で施工困難な箇所がある場合、事前に SII へ相談すること。
- 上記の要件を満たしている場合に限り、施工する居室に属する間仕切壁、階間部天井等の改修を補助対象とする。
- 改修する居室等に属する収納や押入れの外気に接する床、壁、天井も施工すること。
- 現場で断熱パネルとする真空断熱材は、メーカーの発行した設計・施工マニュアルに従い施工すること。
 (注1) R C造等で熱橋となる柱又は梁が室内にある場合は、柱又は梁部分も施工すること。

【②潜熱蓄熱建材】

- 施工範囲に居室※1を含むこと。**
- メーカーの発行した設計・施工マニュアルに従い、潜熱蓄熱建材を導入する居室等の床面積※2あたりの蓄熱量が 192 kJ m^2 以上となるように施工すること。ただし、全館空調方式の場合は延床面積あたりの蓄熱量が 80 kJ m^2 以上となるように施工すること。
- 施工された製品の総厚みが25mm 以内であること。
- 以下のA～C) のいずれかに該当する居室等であること。
 - A) 平成11年省エネ基準以上の断熱性が確保された以下の a e いずれかに該当する居室等
 - a.住宅性能表示基準の温熱環境・エネルギー消費量に関することにおいて、断熱等性能等級が4 以上であること。
 - b.フラット35S の省エネルギー性基準を満たしていること。ただし、中古タイプ基準は対象外とする。
 - c.長期優良住宅認定基準の省エネルギー性において、断熱等性能等級が4 以上であること。
 - d.低炭素建築物認定住宅であること。
 - e.断熱材や開口部の仕様が分かる建築時・改修時の仕様書・図面等により証明できること。
 - B) SIIの補助を受けた 既存住宅の断熱改修に係る事業において、外気に接する床・壁・天井の1 部位以上と外気に接するすべての窓又はガラスを断熱改修した居室等
 ただし、当該事業で改修した部位を撤去せずに改修する場合に限る。
 - C) 本事業において外気に接する床・壁・天井の1 部位以上と外気に接するすべての窓を断熱改修する居室等

必須
製品

※1居室とは、リビング、ダイニング、ダイニングキッチン、寝室、書斎等をいう。なお、押入れ等は面している居室等に属するものとする。

※2潜熱蓄熱建材を導入する居室等に間仕切がなく、空間がつながっている場合（吹抜け、階段等）、同一空間と見なし、改修する居室等の床面積に含むこと。

導入要件・施工要件

内断

③断熱材

- ・施工部位は外気に接する床、天井の三年、以下の部位ごとの性能要件を満たすこと（重ね貼りも可とする）
なお、壁面への導入は対象外とする
- ・既設断熱材は含まず、本事業で改修する断熱材のみで性能要件を満たすこと。

〈部位ごとの性能要件〉

熱抵抗値（R値）	
天井	床
2.7以上	2.2以上

④窓（防火・暴風・防犯仕様）

- ・外窓の設置であること。

⑤防災ガラス窓

以下の内、いずれかの改修であること

A)カバー工法窓

- ・既存窓枠を取り壊さずに、その枠の上から新しい窓を取り付けること

B)外窓

- ・外窓の設置であること

〈窓・防災ガラス窓のUw値[W/ (m²・K)]によるグレード区分〉

製品	Sグレード	Aグレード
窓（防火・暴風・防犯仕様）	1.9以下	2.0～2.3
防災ガラス窓	カバー工法窓	2.0～2.3
	外窓	--

マドリモ断熱窓

任意
製品

⑥玄関ドア

- ・玄関ドアの設置であること

⑦調湿建材

- ・室内側から施工すること
- ・吸放湿を妨げない適切な内装仕上げとすること（吸放湿を妨げる塗装や透湿しないシート等を上張りしないこと）

各製品の補助単価①

内断



断熱パネル

補助対象経費の算出方法

施工面積 (㎡) × 補助単価 (円/㎡)
※施工面積は小数点以下を切り捨て

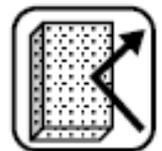
補助単価(単位:円/㎡)

Sグレード

Aグレード

24,000

8,000



断熱材

補助対象経費の算出方法

施工面積 (㎡) × 補助単価 (円/㎡)
※施工面積は小数点以下を切り捨て

補助単価(単位:円/㎡)

天井

床

熱抵抗値(R値)
2.7以上

熱抵抗値(R値)
5.4以上

熱抵抗値(R値)
2.2以上

5,000

6,000

7,500



窓(防火・防風・防犯仕様)

補助対象経費の算出方法

窓数 (窓) × 補助単価(円/窓)

サイズ

面積

補助単価(単位:円/窓)

Sグレード

Aグレード

XS

0.2㎡未満

97,000

80,000

S

0.2㎡以上
1.6㎡未満

138,000

110,000

M

1.6㎡以上
2.8㎡未満

192,000

150,000

L

2.8㎡以上

259,000

200,000

各製品の補助単価②

内断

 防災ガラス窓	補助対象経費の算出方法	サイズ	面積	補助単価(単位:円/窓)			
				Sグレード		Aグレード	
				カバー工法	外窓交換	カバー工法	外窓交換
				窓数(窓) × 補助単価(円/窓)	XS	0.2㎡未満	111,000
S	0.2㎡以上 1.6㎡未満	158,000	125,000				
M	1.6㎡以上 2.8㎡未満	219,000	170,000				
L	2.8㎡以上	286,000	220,000				

 玄関ドア	補助対象経費の算出方法	補助単価(単位:円/扉)	
		Sグレード	Aグレード
ドア数(扉) × 補助単価(円/扉)	250,000	170,000	

 調湿建材	補助対象経費の算出方法	補助単価(単位:円/扉)
	施工面積(㎡) × 補助単価(円/㎡) ※施工面積は小数点以下を切り捨て	7,000

補助対象経費

内断

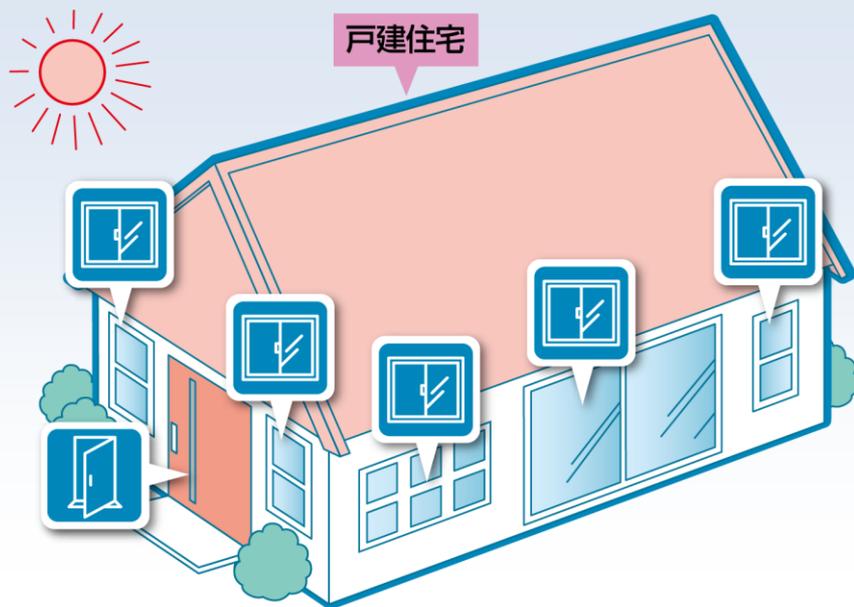
申請金額 = 下表にある補助対象経費の合計額 × 1/2

経費区分		項目
補助対象経費	材料費	<ul style="list-style-type: none"> ・SIIに登録された補助対象製品の購入費
	工事費	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象製品の取付費及び、その取付に必要な部材と取付費 ・補助対象製品の取付け・敷設に必要な下地材等 ・補助対象製品の取付け・敷設に伴う解体撤去費（場内集積まで） ・補助対象製品を算出するための実測値 等
補助対象外経費		<ul style="list-style-type: none"> ・養生費、清掃費、美装費、搬入費、仮設足場日 ・給排水、電気等の設備工事費及び設備機器等の購入費用 ・クロス、外壁サイディング、フローリング等の仕上げ材、網戸、雨戸、シャッター等の窓付属部材（ただし、SIIに登録されているシャッター、雨戸、面格子付きの外窓は補助対象とする） ・サイディング胴縁、壁透湿シート、屋根防水シート等の下地材と取付費 ・土台・大引き・柱等の構造材、床下地合板、壁下地合板、石膏ボード等の下地面材と取付費 ・諸経費、設計費、書類等の補助対象製品以外の送料、交通費、廃材処分費、管理費、調査費、消費税 および地方消費税、法定外福利費 ・金融機関に対する振込手数料 等

窓断

窓断熱

窓断



補助金額

- ・補助率
補助対象経費の **1/2** 以内
- ・補助金の上限額
戸建：**150**万円/戸
※窓（防火・防風・防犯）・玄関ドア
と任意製品を併用して回収する場合は
200万円/戸

住宅区分

戸建住宅

戸建

出典「令和5年度次世代建材 | 事業概要パンフレット（一般社団法人 環境共創イニシアティブ）」

補助対象となる製品

未使用品であること

必須

全ての開口部（窓・玄関ドア）



※全てSII登録製品

任意

断熱パネル、断熱材
潜熱蓄熱建材、調湿建材



※全てSII登録製品

導入要件・施工要件

窓断

【①窓(防火・防風・防犯仕様)】 ※Sグレードの窓

- A) 原則、住宅全ての窓を改修すること。
- B) 300mm×200mm以下のガラスを用いた窓及び換気を目的としたジャロジー窓、テラスドア、勝手口ドア等は、改修を要件としない。ただし、補助対象製品を用いた改修を行う場合は補助対象としてもよい。
- C) 交付申請時に既に改修済みの窓がある場合、その窓が本事業に登録されている**Sグレードの窓**(防火・防風・防犯仕様) ※1であれば改修を要件としない。ただし、以下の書類を全て提出すること。また改修済みの窓に係る経費は補助対象外とする。

【②玄関ドア】

- A) 玄関ドアの設置であること。
- B) 交付申請時に既に改修済みの場合、本事業に登録されている玄関ドアであれば改修を要件としない。ただし、以下の書類を全て提出すること。また改修済みの玄関ドアに係る経費は補助対象外とする。

- 該当する製品の仕様書(書式自由) ※2
- 該当する製品のカタログ
- 該当する製品を示した平面図
- 該当する製品の現況写真 ※3

※1 Uw値 1.9 W(m²・K) 以下の窓(防火・防風・防犯仕様) のことをいう

※2 メーカー名、製品名、該当するSII登録型番、数量、サイズ、数値等(複層ガラスの中空層の厚さ、ガスの種類) が記載された、製品の仕様書を提出すること。

※3 該当する製品の現況写真は、全景写真、製品本体に表示されているメーカー製品名や品番が確認できるラベル写真、窓については複層ガラス等の仕様が確認できる写真も併せて提出すること

必須
製品

導入要件・施工要件

窓断

①断熱パネル

- ・室内側から施工すること。床下、壁の外側、天井裏から施工するものは対象としない。
- ・現場で断熱パネルとする真空断熱材は、メーカーの発行した設計、施工マニュアルに従い施工すること。

②潜熱蓄熱建材

- ・メーカーの発行した設計・施工マニュアルに従い、潜熱蓄熱建材を導入する居室等の床面積※1当たりの蓄熱量が192 kJ/m²以上となるように施工すること。
ただし、全館空調方式の場合は延べ床面積あ裁ちの蓄熱量が80 kJ/m²以上となるように施工すること
- ・施工された製品の総厚みが25mm以内であること。
- ・以下のA)～C)のいずれかに該当する居室等であること。

A) 平成11年省エネ基準以上断熱性が確保された以下のa～eいずれかに該当する居室等

- 住宅性能表示基準の温熱環境・エネルギー消費量に関することにおいて、断熱等性能等級が4以上であること。
- フラット35Sの省エネルギー性基準を満たしていること。ただし、中古タイプ基準は対象外とする。
- 長期優良住宅認定基準の省エネルギー性において、断熱性能等級が4以上であること。
- 低炭素建築物認定住宅であること。
- 断熱材や開口部の仕様がわかる建築時・改修時の仕様書・図面等により証明できること。

B) SIIの補助を受けた既存住宅の断熱改修において、外気に接する床・壁。天井の

- 1部位以上と外気に接するすべての窓又はガラスを断熱改修した居室等。
ただし、当該事業で改修した部位を撤去せずに回収する場合に限る。

C) 本事業において外気に接する床・壁・天井の1部位以上と外気に接するすべての窓を断熱改修する居室等

③断熱材

施工部位は外気に接する床、天井のみとし、以下の部位ごとの性能要件を満たすこと。（重ね貼りも可とする）
なお、壁面への導入は対象外とする。
既設断熱材は含まず、本事業で改修する断熱材のみで性能要件を満たすこと。

熱抵抗値 (R値)	
天井	床
2.7以上	2.2以上

④調湿建材

- 室内側から施工すること。
- 吸放湿を妨げない適切な内装仕上げとすること（吸放湿を妨げる塗装や透湿しないシート等を上張りしないこと）

任意
製品

各製品の補助単価①

窓断

 窓(防火・防風・防犯仕様)	補助対象経費の算出方法	サイズ	面積	補助単価(単位:円/窓)			
	窓数(窓) × 補助単価(円/窓)			Sグレード			
				XS	0.2㎡未満	97,000	
				S	0.2㎡以上 1.6㎡未満	138,000	
				M	1.6㎡以上 2.8㎡未満	192,000	
L	2.8㎡以上	259,000					

 玄関ドア	補助対象経費の算出方法	補助単価(単位:円/扉)	
	ドア数(扉) × 補助単価(円/扉)	Sグレード	Aグレード
		250,000	170,000

 断熱パネル	補助対象経費の算出方法	補助単価(単位:円/㎡)	
	施工面積(㎡) × 補助単価(円/㎡) ※施工面積は小数点以下を切り捨て	Sグレード	Aグレード
		24,000	8,000

 断熱材	補助対象経費の算出方法	補助単価(単位:円/㎡)		
	施工面積(㎡) × 補助単価(円/㎡) ※施工面積は小数点以下を切り捨て	天井		床
		熱抵抗値(R値) 2.7以上	熱抵抗値(R値) 5.4以上	熱抵抗値(R値) 2.2以上
		5,000	6,000	7,500

 調湿建材	補助対象経費の算出方法	補助単価(単位:円/扉)
	施工面積(㎡) × 補助単価(円/㎡) ※施工面積は小数点以下を切り捨て	7,000

スケジュール

令和5年度 次世代省エネ建材の実証支援事業公募規定より

年間予定		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一般公募	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公募期間 2023年5月8日（月）～8月25日（金） ・ 交付決定 随時採択、最終交付決定日は以下のとおり 2023年9月下旬 ・ 実績報告書提出期限 2023年12月8日（金） 		○	→ 公募期間			○			→ 交付決定（随時採択）			○	
				→ 工事期間										
二次公募	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公募期間 2023年9月4日（月）～11月30日（木） ・ 交付決定 随時採択、最終交付決定日は以下のとおり 2023年12月下旬 ・ 実績報告書提出期限 2024年1月12日（金） 						○	→ 公募期間		○				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート提出期限（一次・二次共通） 2024年2月下旬（予定） 												○	

事業の流れ

<申請フロー図>

申請者
(補助事業者)

「交付申請書」及び提出書類作成・提出

「交付決定通知書」発行

事業開始 (契約・発注・着工)

事業完了 (工事・支払い完了)

「実績報告書」及び提出書類作成・提出

効果測定

※外張り断熱のみ

「交付額確定通知書」発行

補助金入金

定期報告アンケート

補助金支払い

※代行事業者が行う場合もあります

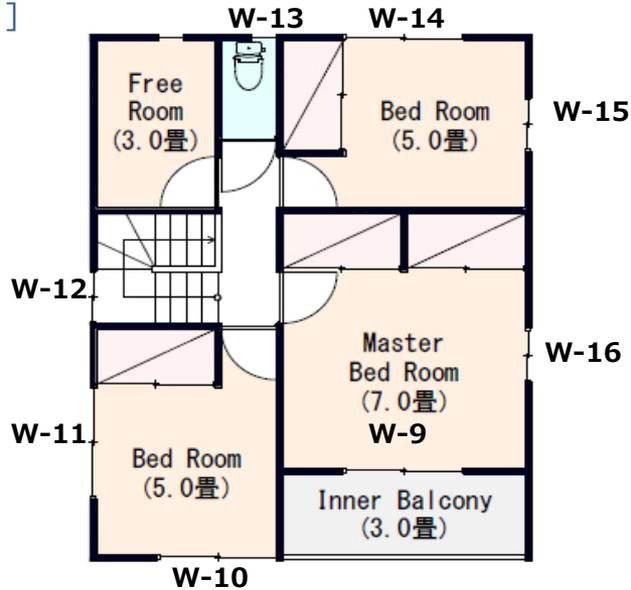
SII



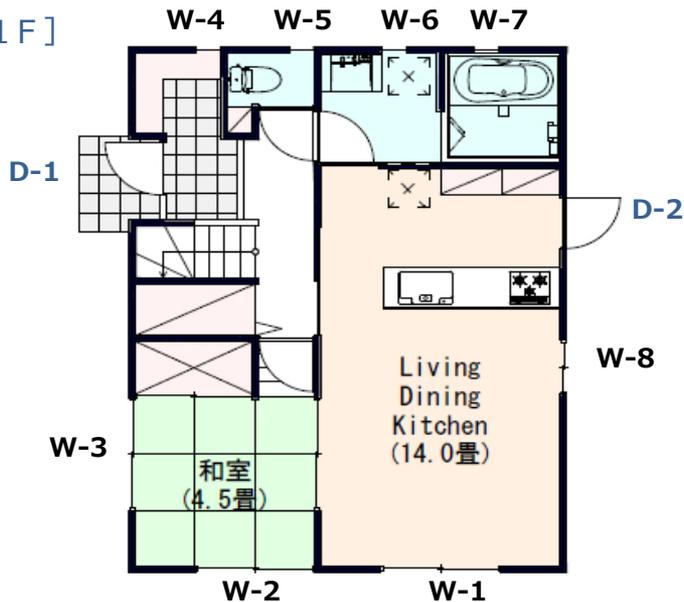
分類	Sグレード	Aグレード
<p>窓 (防火、防風、防犯)</p>	 <p>APW430防火窓</p>  <p>エピソードII NEO シャッター付き引違い窓(Ar)</p>	 <p>APW330防火窓</p>  <p>エピソードII 防火窓 GNEO</p>
<p>防災ガラス窓 ※60milの中間膜の 合わせガラス用いた 複層ガラス</p>	 <p>マドリモ断熱窓 樹脂窓 (Ar)</p>  <p>プラモド H (Ar)</p>	 <p>マドリモ断熱窓 樹脂窓</p>  <p>マドリモ断熱窓 アルミ樹脂複合窓 (Ar)</p>
<p>玄関ドア</p>	 <p>InnoBest D70 D50</p>	 <p>ヴェナート D30</p>

詳細は事業の公式サイトに掲載 https://sii.or.jp/meti_material05/search

[2F]



[1F]



	窓種	サイズ	補助金額
W-1	エピソードII NEOシャッター付き	L	129,500
W-2	エピソードII NEOシャッター付き	L	129,500
W-3	エピソードII NEOシャッター付き	L	129,500
W-4	エピソードII NEO面格子付き	S	69,000
W-5	エピソードII NEO面格子付き	S	69,000
W-6	エピソードII NEO面格子付き	S	69,000
W-7	エピソードII NEO面格子付き	S	69,000
W-8	エピソードII NEO面格子付き	S	69,000
W-9	エピソードII NEOシャッター付き	L	129,500
W-10	エピソードII NEOシャッター付き	M	96,000
W-11	エピソードII NEOシャッター付き	M	96,000
W-12	エピソードII NEO面格子付き	S	69,000
W-13	エピソードII NEO面格子付き	S	69,000
W-14	エピソードII NEOシャッター付き	M	96,000
W-15	エピソードII NEO面格子付き	M	96,000
W-16	エピソードII NEO面格子付き	S	69,000
D-1	ヴェナート D30(Aグレード)		85,000
D-2	APW331防火窓勝手口ドア	M	96,000
補助金合計額 (円)			1,635,000

補助金の上限額は150万円→申請金額は150万円

本日のランナツプ（90分）

はじめに

1. 住宅エコリフォーム推進事業 概要解説

- ✓ 概要説明 … (30)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

2. 次世代省エネ建材の実証支援事業

- ✓ 概要説明 … (25)
- ✓ 要点のおさらい … (10)

現状非住宅の建物を住宅にする場合、申請対象となりますか

既存住宅が対象となりますので、申請対象となりません。

交付決定以降に工事内容を**変更**してもよいですか？

交付決定後の申請内容の変更は原則、認められません。やむを得ず変更する可能性が生じた場合には、必ず事前にその内容をSIIへご相談ください。

【外断】 既存構造材の**撤去**は、どこまでが認められますか？

建物の構造・強度を支える柱、間柱、筋かい、耐力壁等を撤去せず、生活空間が保持される範囲までとしてください。

**既存の断熱性能を確認するために、外壁を一部剥がす必要があります。
これは事前着工になりますか？**

性能確認のために外壁を一部剥がすことは、事前着工には該当しません。

既存の壁・天井・床を撤去して断熱パネルを施工する場合、申請できますか？

申請いただけます。ただし、室内側から施工する場合があります。

有効活用できるケースの想定

	先進的 窓リノベ	住宅エコリフォーム推進事業	次世代省エネ建材の実証支援事業
物件	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全物件 ✓ 水まわり工事を検討している 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 玄関ドア工事を検討している ✓ 窓リノベで窓工事実施済み ✓ マンション 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外壁工事を行う ✓ 開口部を全て工事する ✓ 性能向上リノベ物件 ※特に防火仕様
主な商品	<p>マドリモ断熱窓 樹脂窓 APW330</p> 	<p>ドアリモ玄関ドアD30 マドリモ断熱窓 マンション用</p> 	<p>APW330防火窓 シャッター付</p> 
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 窓リフォームはまずコレ ✓ 外窓交換・カバー工法の補助単価が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 玄関ドアリフォームはコレ ✓ 窓数の少ないマンション 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外断の補助額上限が高い 300～400万円<small>(地域区分による)</small> ✓ 窓・ドアは限定

違いと注意点

	先進的 窓リノベ	住宅エコリフォーム推進事業	次世代省エネ建材の実証支援事業
主旨	既存窓の高断熱化	ストック住宅の省エネ (建替含む)	省エネ改修の促進 (高断熱、効率性)
申請者	事業者	事業者	『施主』 ※事業者が代行するケースが多い
交付申請のタイミング	工事後 ※予約申請もあり	契約後・事業者登録後 いつでも可	工事前
着工のタイミング	契約後・事業者登録後 いつでも可	契約後・事業者登録後 いつでも可	交付決定通知後
完了報告	不要	必要	必要
対象工事の図面	不要	必要※2022年度内容	必要
リフォーム補助額(上限)	200万円/戸	35万円/戸	150～400万円/戸
そのほか特記		耐震性の確保 jGrants	効果測定(外断のみ) 公募は2期にわかれる
対象商品	外窓交換(新設窓)	○	△ (防火、防風、防災)
	内窓	○	×
	マドリモ断熱窓	○	△ (防災)
	ドアリモ玄関	×	×

お客様向け

令和5年度

国土交通省

住宅エコリフォーム推進事業

経済産業省

次世代省エネ建材の実証支援事業

事業概要セミナー 終了

本日は誠にありがとうございました

実施後アンケートへのご協力をどうぞ宜しくお願い致します

YKK
AP®